

2 0 2 1 / 2 0 2 2 (令和 3 ・ 4) 年度
学校安全教育調査研究委員会報告書

2 0 2 3 (令和 5) 年 3 月

公益社団法人 日本学校歯科医会
学校安全教育調査研究委員会

ま え が き

～学校安全教育調査研究委員会報告書作成に当たって～

近年、歯周病や咀嚼・摂食にかかわる口腔機能の未発達、歯・口の外傷などの課題が指摘されています。文部科学省参考資料「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」では、外傷防止を歯・口の健康づくりの重要な課題のひとつとして取上げ、日本学校歯科医会でのスポーツ歯科と安全教育に関する資料等の作成、生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業での安全に関する実践的研究の実施、スポーツ庁委託（日本スポーツ振興センター受託）によるスポーツ事故防止対策推進事業での調査やDVD教材の作成配布など多くの取組が試行されてきましたが、学校等での歯・口の安全に関する取組は、必ずしも浸透せず、体育・スポーツ活動における歯・口の障害事故が中・高等学校では約4割を占めるなど、放置できない状況です。

そのような状況の中、本調査研究においては、学校健康教育の重要な一翼を担う日本学校歯科医会が、障害事故の多い野球に絞り、今後のスポーツ外傷防止教育の普及に関して実践的な研究を行ないました。

具体的には、平成29・30年度、令和元・2年度に引き続き6か年にわたり、日本高等学校野球連盟をはじめ関係機関・団体等と連携し、これまでの「歯・口の健康づくり」等の成果と学校保健安全法の趣旨を踏まえつつ、生涯にわたる健康づくりを支える重要な基盤として、全国の高等学校野球部4校を指定し、野球を中心とした学校のスポーツ活動における歯・口の外傷防止教育の普及推進を目指し、学校歯科保健のさらなる充実と子供の生きる力の育成に資することを目的として研究者と関係機関、学校歯科医、学校現場が協働して当事業を具体的に展開してきました。

具体的な取組としては、埼玉県・関東から全国に範囲を拡大し、野球部活動におけるマウスガード使用のための手順や方法、生徒の意識等についての調査研究を継続し、前期（令和元・2年度）の課題として挙げられた衛生管理や生徒の意識の低下防止、具体的な実施モデルの確認に加え、全国の各地域や学校等どのように普及するか、それに学校歯科医がどう関わるかなどについて検討し、保護者・指導者対象、学校歯科医が安全教育の際に活用するための啓発・教育資料を作成するなどの成果を上げることができました。

しかしながら、2年度においてコロナ禍に見舞われ約半年にわたり一斉休校や部活動の休止、都道府県間の移動自粛などがあり、その後もCOVID-19の影響があり、十分な取組ができなかったが、委員、アドバイザー、歯科医会関係者と研究指定校のご努力により体制を整備し、学校歯科医の参画も得て取組を進め、予定していた保護者・スポーツ指導者への啓発資料及び学校歯科医のための啓発・教育資料作成を行うことができたことは特筆すべき成果であると思います。

今後の課題としては、全国各地域で状況が異なる中でのマウスガード活用啓発や安全確保のための支援体制の整備や新しい状況として、女子野球部の急激な増加などの事情もあり、これらの支援方法も検討する必要があります。

今後はこれらの成果と課題を踏まえながら、本調査研究を継続し今期の委員会で作成した資料等の活用、歯・口の外傷防止を核とした安全教育のさらなる深化と全国的な普及啓発の方法を探ることが必要であることを、改めて確認したいと思います。

本報告書は、本委員会の2か年の調査研究の経緯と成果、そして明らかになった課題を、可能な限り具体的かつ詳細に掲載しており、巻末に、歯・口の外傷防止を中心とした安全教育の在り方に関する教育、相談等に協力可能な歯科医師（団体）の名簿も掲載しています。掲載内容とともに、全国の各地域・学校等での取組に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、積極的に取組を進め情報を提供いただいた研究指定校の浦和学院高等学校、大阪桐蔭高等学校、花巻東高等学校及び新田高等学校、本事業の実施に当たって絶大なご支援を賜りました日本高等学校野球連盟、明海大学、東京医科歯科大学、大阪歯科大学、日本スポーツ歯科医学会、日本スポーツ振興センター、各加盟団体など関係機関に深甚なる謝意を表するとともに、引き続きご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2023（令和5）年3月31日

公益社団法人 日本学校歯科医会
学校安全教育調査研究委員会

委員長 戸 田 芳 雄

目 次

ま え が き

目 次	(頁)
I 諮問事項及び委員等名簿	3
II 活動の概要	
(1) 2021(令和3)年度の委員会活動	4
(2) 2022(令和4)年度の委員会活動	7
(3) 研究指定校 花巻東高等学校	11
浦和学院高等学校	15
大阪桐蔭高等学校	18
新田高等学校	22
III 調査結果	
(1) マウスガードに関するアンケート調査結果	25
(2) 安全意識等に関する調査結果	29
(3) 保護者へのアンケート調査結果	50
(4) その他の調査結果	51
公益財団法人日本高等学校野球連盟での調査結果	51
IV 成果と課題	54
あ と が き	55
【付録1】歯・口の外傷の傾向(独立行政法人日本スポーツ振興センター)	56
【付録2】歯・口の外傷防止に関する教育、相談等協力可能な団体・歯科医師等名簿	62
* 公益社団法人日本学校歯科医会加盟団体	62
* 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会認定医	65
【付録3】調査票	72

I 諮問事項及び委員等名簿

1. 諮問事項 『スポーツ歯科の普及についての調査研究』

【目的】公益財団法人日本高等学校野球連盟の協力のもと「学校における安全教育」の一環として部活動で発生している「歯・口のけが」を防止するためのマウスガードの普及啓発と外傷時の対応の周知を過去4年間実施してきた。その結果、明らかとなった具体的な方法を、広く全国の地域や学校において普及するための課題を整理し、各地域・学校に応じた実践的な方法について調査研究を行う。

担当副会長 野村 圭介

担当理事 平瀬 久義

【課題】体育・スポーツ活動における「歯・口の外傷」の発生頻度は高く、中学校、高等学校では4割を占める。各校において委嘱されている学校歯科医との連携を基底に据えることが、特定の部活動だけでなく生徒全体への持続した安全教育・指導につながる。

- (1) マウスガードの衛生管理の方法や生徒の安全意識向上と使用継続のための教育をどのように行っていくか、継続して実践的な検討が必要である。
- (2) 全国の各地域・学校等において運動部活動などの集団でのマウスガード作製・使用の多様な形態の実践方法について問題点を洗い出しやシステム構築策などを検討する。
 - ① 歯科大学の支援による具体的な実施の方法や課題の洗い出し。(今回は全国で実施する)
 - ② 加盟団体や県歯科医師会などがプロジェクトチームなどを編成、主導して進める具体的な実施の方法や課題の洗い出し。
 - ③ 学校歯科医が主導し、地域の歯科医師会などが支援して進める具体的な実施の方法や課題の洗い出し。
- (3) スポーツ指導者や保護者の理解や関心を高める取り組みが十分でなく保護者に対する野球の安全やマウスガードの必要性に関する教育や啓発の機会設定が必要である。
- (4) 公益財団法人日本高等学校野球連盟と連携し、マウスガードの利用状況や指導者や保護者の意識調査を行い、実態を明らかにするとともに、野球をはじめとするスポーツ活動での安全、マウスガードの有効性や仕様の意義をより広く啓発する必要がある。
- (5) コロナ禍のため、未着手となった保護者やスポーツ指導者対象の啓発資料、学校歯科医・歯科医対象の啓発資料作成により、マウスガードへの理解や関心を高める必要がある。

【実施期間】2021年11月より2022年6月

- (1) 第94回選抜高等学校野球大会(2022年3月18日～30日)
- (2) 第104回全国高校野球選手権大会(2022年8月)

【実施方法】第1回委員会にて詳細を検討する。

- (1) 委員会及びワーキンググループ活動
 - ① 第1回委員会11月
 - ② 第2回委員会と研究指定校への説明会11月
 - ③ 第3回委員会
 - ④ 第4回委員会
 - ⑤ 第5回委員会
- (2) 研究指定校への実地調査
 - ① 指定校においてマウスガード作製指導等
 - ② 委員の参観及び活動状況の視察等
 - ③ 安全指導及び調査

【研究指定校】

埼玉県：浦和学院高等学校
大阪府：大阪桐蔭高等学校
岩手県：花巻東高等学校
愛媛県：新田高等学校

【公益財団法人日本高等学校野球連盟】

(1) 全国高等学校野球選手権大会での出場校へのアンケート

【公益社団法人日本歯科医師会】

(1) 公益社団法人日本歯科医師会との連携を図る。

2. 委員等名簿

(敬称略・順不同、令和4年11月現在)

【委員及びアドバイザー】

委員長	戸田 芳雄	日本安全教育学会理事長、学校安全教育研究所顧問
副委員長	小倉 好正	公益財団法人日本高等学校野球連盟事務局長
委員	鈴木 俊一	一般社団法人岩手県歯科医師会理事
	狩谷 源一郎	一般社団法人埼玉県歯科医師会理事
	山崎 敏彦	一般社団法人大阪府学校歯科医会理事
	山本 哲也	公益社団法人神戸市歯科医師会理事
	稲田 雅仁	一般社団法人愛媛県歯科医師会理事
アドバイザー	流石 裕之	花巻東高等学校野球部長
	高間 薫	明星学園(浦和学院高等学校)常務理事
	安井 利一	明海大学学長
	上野 俊明	明海大学教授
	松本 勝	明海大学准教授
	田中 文人	独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部安全支援課長
	中禮 宏	東京医科歯科大学講師
	吉川 一志	大阪歯科大学准教授
	有友 茂史	大阪桐蔭高等学校野球部長
	是澤 恵三	愛媛県歯科医師会前会長
	濱田 英希	新田高等学校野球部長
担当役員	野村 圭介	公益社団法人日本学校歯科医会副会長
	平瀬 久義	公益社団法人日本学校歯科医会理事

II 活動の概要

1. 2021(令和3)年度の委員会活動

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の再拡大のため、コロナへの対応について事務局と協議し、委員会及びWGの会合は、すべてWebを活用したオンライン会議とすることとし、研究指定校の取組については、学校の状況に対応して新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を実施しながら、慎重に取組を行うこととした。

＜第1回委員会＞令和3年11月9日(火)10:00～12:30 歯科医師会館及びオンライン

◇出席者 (敬称略、順不同)

【委員】戸田芳雄、小倉好正、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁

【アドバイザー】安井利一、松本 勝、高間 薫、田中 文人、上野俊明、吉川一志、有友茂史、是澤恵三

【役員】野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事

◇内 容 2021/2022(令和3-4)年度事業計画(及び実施要項、諮問事項及び目的等を確認)

＜第2回委員会＞令和4年3月7日(月)13:30～14:30 歯科医師会館及びオンライン

◇出席者(敬称略、順不同)

【委員】戸田芳雄、小倉好正、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也

【アドバイザー】松本 勝、上野俊明、是澤恵三、田中 文人

【役員】川本 強会長、野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事

◇内 容 研究指定校の取組状況の確認及び実践上の課題に関して検討

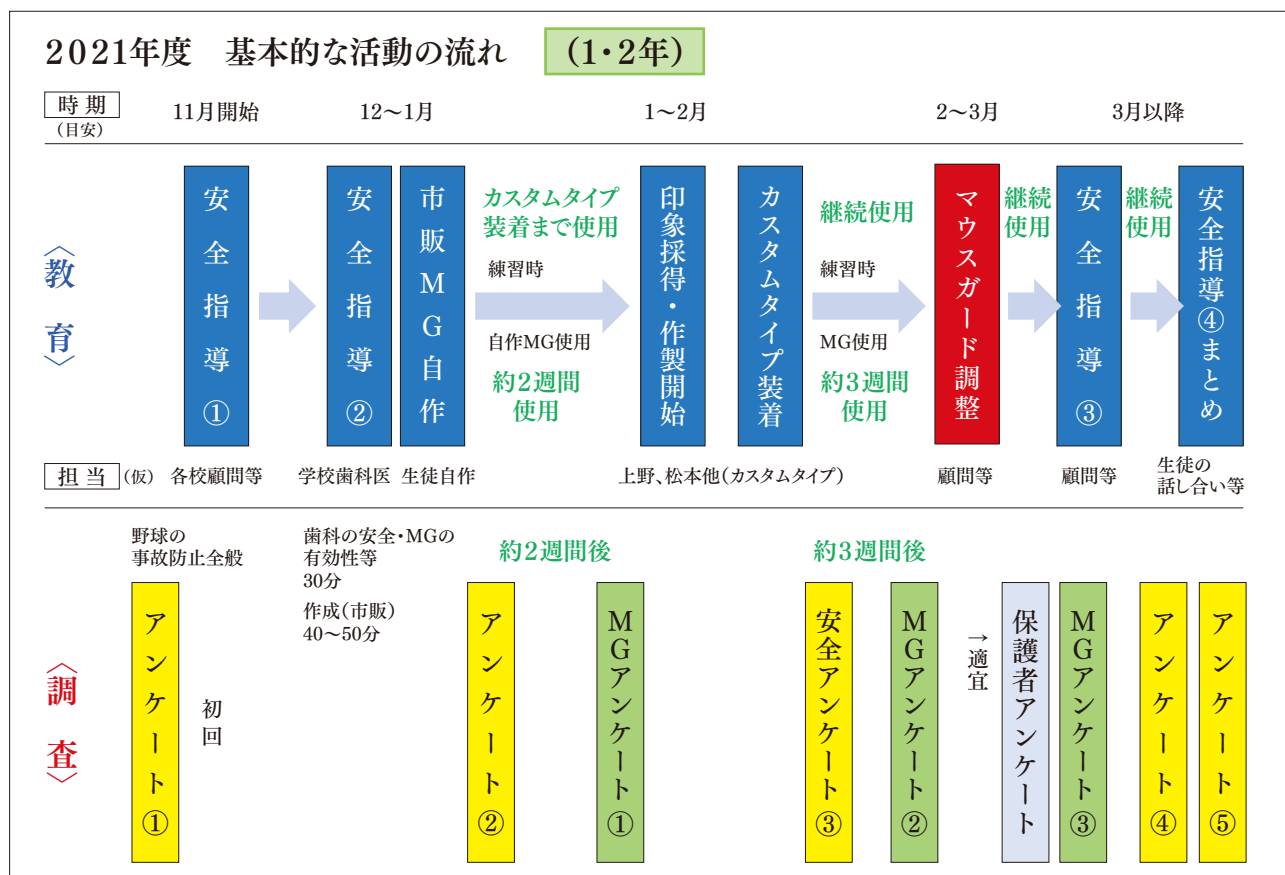
(2) ワーキンググループ開催 なし

(3) 研究指定校への実地指導等

①安全指導及びマウスガード作製指導等

②委員・アドバイザーのマウスガード作製及び活動状況の視察等

* 以下MGは、マウスガード



(4) 安全指導及び調査

＜安全指導等＞

	花巻東高等学校			浦和学院高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
第1回安全指導	2021.12.16	78	流石	2021.12.22	63	高間
第2回安全指導	2021.12.16	78	鈴木	2022.1.6	63	安井
市販MG作製実習	2021.12.16	78	鈴木	2022.1.6	63	松本
カスタムタイプMG作製	2021.12.26 2022.1.9	36 36	鈴木	2022.2.3/ 2022.2.10	63	松本
同MG装着	2022.1.30	42	鈴木	2022.2.24/ 2022.3.3	63	松本
MGの調整	2022.3.10	78	鈴木	2022.3.3/ 2022.3.10	62	松本
第3回安全指導				2022.5.13	63	高間
第4回安全指導				2022.5.31	61	高間

	大阪桐蔭高等学校			新田高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
第1回安全指導	2021.12月上旬	41	有友	2021.12.15	43	濱田
第2回安全指導	2021.12.15	41	木田	2021.12.16	43	稲田
市販MG作製実習	2021.12.15	41	山崎	2021.12.26	43	稲田
カスタムタイプMG作製	2021.12.25	41	山崎	2022.1.29	43	稲田
同MG装着	2022.1.9/ 2022.5.30/ 2022.6.20	40 1 5	山崎	2022.2.11	43	稲田
MGの調整	2022.5.30	4	山崎	2022.2.23	43	稲田
第3回安全指導				2022.9.10	20	濱田
第4回安全指導						

< 調 査 >

	花巻東高等学校			浦和学院高等学校		
アンケート①	2021.12.14	78	流石	2021.12.22	63	高間
アンケート②	2022.4.14	78	流石	2022.1.8	63	高間
MGアンケート①	2022.1.中旬	78	流石	2022.2.3	63	高間
アンケート③	2022.9.2	78	流石	2022.2.24	62	高間
MGアンケート②	2022.3.初旬	78	流石	2022.3.9	62	高間
アンケート④				2022.5.13	63	高間
アンケート⑤				2022.5.31	63	高間
MGアンケート③	2022.9.初旬	78	流石	2022.4.11	63	高間
保護者アンケート	2022.4.下旬	57	流石	2022.4.14	63	高間

	大阪桐蔭高等学校			新田高等学校		
アンケート①	2022.1.16	41	有友	2021.12.12	43	濱田
アンケート②	2022.6.12	41	有友	2022.1.24	43	濱田
MGアンケート①	2022.6.12	41	有友	2022.1.24	43	濱田
アンケート③				2022.2.20	43	濱田
MGアンケート②				2022.2.23	43	濱田
アンケート④				2022.9.10	20	濱田
アンケート⑤						
MGアンケート③						
保護者アンケート				2022.1.25	43	濱田

(4) 普及啓発活動

研究指定校における啓発・HP掲載等、報道機関への情報提供等

(5) 指導用パワーポイント教材の活用

前期で作成した「スポーツ活動中の歯・口のけが防止と応急処置～中高生へのアドバイス～」を加盟団体、公益財団法人日本高等学校野球連盟、一般社団法人日本スポーツ歯科医学会、独立行政法人日本スポーツ振興センターに配布し、活用を進めた。

2. 2022(令和4)年度の委員会活動

コロナ禍への対応について事務局と協議し、委員会及びWGの会合は、すべてWebを活用したオンライン会議とすることとし、研究指定校の取組については、学校の状況に対応して新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を実施しながら、慎重に取組を行うこととした。

(1) 委員会の開催

＜第1回委員会＞ 4月21日(木) 13:30～14:30 歯科医師会館及びオンライン会議

◇出席者(敬称略、順不同)

【委員】戸田芳雄、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、

【アドバイザー】安井利一、上野俊明、吉川一志、高間薫、是澤恵三、田中文人、有友茂史

【役員】川本強会長、野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事
(オブザーバー)澤田章司常務理事

◇内 容 今期の事業計画、研究指定校の事業計画及び予算、啓発活動について

＜第2回委員会＞ 11月28日(月) 13:00～14:30 歯科医師会館及びオンライン

◇出席者(敬称略、順不同)

【委員】戸田芳雄、小倉好正、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也

【アドバイザー】上野俊明、吉川一志、高間薫、是澤恵三、田中文人

【役員】川本強会長、野村圭介副会長、平瀬久義理事
(オブザーバー)澤田章司常務理事

◇内 容 報告書、資料内容の検討、次期に向けた課題の整理及び研究指定校における取組の状況について

＜第3回委員会＞ 2月8日(水) 13:00～14:30 オンライン会議

◇出席者(敬称略、順不同)

【委員】戸田芳雄、小倉好正、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也

【アドバイザー】上野俊明、吉川一志、高間薫、是澤恵三、田中文人、有友茂史、流石裕之

【役員】川本強会長、野村圭介副会長、平瀬久義理事

◇内容 2021・2022年度報告書の校正と確認、課題の整理及び次期の活動の方向性について他

(2) ワーキンググループ会合の開催

＜第1回＞ 6月27日(月) 13:30～14:30 オンライン会議

◇出席者(敬称略、順不同)

【委員】小倉好正副委員長

【WGメンバー】松本勝、上野俊明、安井利一、中禮宏、高間薫、濱田英希、有友茂史、戸田芳雄、
狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也

【役員】野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事

◇内容 報告書案及び啓発資料の検討

＜第2回＞ 9月5日(月) 13:30～15:30 オンライン会議

◇出席者

【WGメンバー】松本勝、上野俊明、中禮宏、高間薫、濱田英希、戸田芳雄、狩谷源一郎、山崎敏彦、
鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也、田中文人、流石裕之、吉川一志

【役員】野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事
(オブザーバー)澤田章司常務理事

◇内容 調査研究成果報告書及び啓発資料案の検討、今後の研究指定校の取組等について

<第3回> 12月21日(水) 13:00～15:00 オンライン会議

◇出席者

【委員】小倉好正副委員長

【WGメンバー】松本勝、上野俊明、中禮宏、高間薫、濱田英希、戸田芳雄、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也、田中文人、流石裕之、是澤恵三、有友茂史

【役員】川本強会長、野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事
(オブザーバー) 澤田章司常務理事

◇内容 2021・2022年度報告書案の最終校正・校了、課題の整理及び次期の活動の方向性について他

<第4回> 2023年3月9日(木) 10:00～12:00 オンライン会議

◇出席者

【委員】小倉好正副委員長

【WGメンバー】上野俊明、中禮宏、濱田英希、戸田芳雄、狩谷源一郎、山崎敏彦、鈴木俊一、稲田雅仁、山本哲也、田中文人、流石裕之、是澤恵三

【役員】野村圭介副会長、長沼善美専務理事、平瀬久義理事
(オブザーバー) 澤田章司常務理事

◇内容 2021・2022年度報告書案の最終校正・校了、課題の整理及び次期の活動の方向性について他

(3) 研究指定校への実地指導等

- ① 安全指導及びマウスガード作製指導等…研究指定校ごとに実施
- ② 委員の参観及び活動状況の視察等……関係者で適宜実施

2022年度 基本的な活動の流れ

(1年)

* 2年・3年は、調整及び耐久性(破損等)の確認、MG調査



(4) 安全指導及び調査

< 安全指導等 >

	花巻東高等学校			浦和学院高等学校		
第1回安全指導	2022.5.26	35	流石	2022.6.3	36	高間
第2回安全指導	2022.5.26	35	鈴木	2022.6.10	36	安井
市販MG作製実習	2022.5.26	35	鈴木	2022.6.10	36	松本
カスタムタイプMG作製 (印象採得)	2022.5.26	35	鈴木	2022.6.23	36	松本
同MG装着	2022.6.16	35	鈴木	2022.7.7	36	狩谷
MGの調整(2年)				2022.7.21	4	松本
MGの調整(1年)				2022.7.21		
第3回安全指導						
第4回安全指導						

	大阪桐蔭高等学校			新田高等学校		
第1回安全指導	2022.5月中旬	23	有友	2022.5.23	35	濱田
第2回安全指導	2022.5.30	23	木田	2022.5.25	35	稲田
市販MG作製実習	2022.5.30	23	山崎	2022.6.11	35	稲田
カスタムタイプMG作製 (印象採得)	2022.6.20 2022.6.25 2022.6.26	23 5 1	山崎	2022.6.20	35	稲田
同MG装着	2022.7.4	23	山崎	2022.7.10	35	稲田
MGの調整(2年)				2022.8.28	35	稲田
MGの調整(1年)				2022.8.28	35	稲田
第3回安全指導				2022.10.25	35	濱田
第4回安全指導						

< 調 査 >

	花巻東高等学校			浦和学院高等学校		
アンケート①	2022.5.26	35	流石	2022.6.3	36	高間
アンケート②	2022.9.2	35	流石	2022.6.10	36	高間
MGアンケート①	2022.6.16	35	流石	2022.7.6	36	高間
アンケート③				2022.8.19	35	高間
MGアンケート②	2022.9.2	35	流石	2022.8.17	34	高間
アンケート④				2022.9.16	36	高間
アンケート⑤				2022.10.25	36	高間
MGアンケート③						
保護者アンケート						

	大阪桐蔭高等学校			新田高等学校		
アンケート①				2022.5.11	35	濱田
アンケート②				2022.6.28	36	濱田
MGアンケート①	2022.6.12	23	有友	2022.6.28	35	濱田
アンケート③				2022.8.19	35	濱田
MGアンケート②	2022.7.12	23	有友	2022.8.24	35	濱田
アンケート④				2022.10.25	34	濱田
アンケート⑤						
保護者アンケート				2022.6.28	35	濱田

(5) 普及啓発活動

研究指定校における啓発・HP掲載等、報道機関への情報提供他。

(6) 啓発資料の作成

① 学校歯科医・歯科医対象



『スポーツ歯科と安全教育』

A4判 20頁

発行元：公益社団法人日本学校歯科医会

② 保護者及び指導者対象



『-大切な歯・口を守る- マウスガード知っていますか?』

B4判 6頁

発行元：公益社団法人日本学校歯科医会

(3) 研究指定校の活動

<花巻東高等学校>

マウスガードから学ぶ安全教育の推進

花巻東高等学校 流石裕之

【学校で取り組む安全教育】

本校では毎年、職員・生徒ともに救急救命講習を実施しており、硬式野球部員においても研修を通してAEDについて使用方法のみならず理解を深めている。

また、緊急時の避難訓練やコロナ感染予防対策、各施設においてのネット・ラバーの設置など生徒のけが予防に努めている。



【硬式野球部における安全教育】

本校硬式野球部には毎年100名を超える生徒が在籍する。しかし、練習環境は部員数に対して決して十分なスペースがあるとは言えず、常に安全対策には余念がない。特に狭いスペースで効率良く練習を行う為に、ネットの破損箇所の確認や補修、近距離でのティー打撃やバッティング投手を行う際のフェイスガードやヘッドギアの着用などは日頃から徹底して義務付けている。

また、緊急時に備えて野球場横にAEDを設置、さらにグラウンド内外の各箇所には担当を定め、日頃より点検(安全確認)を行なっている。

日常生活においても、全部員が寮生活を行なっていることから、学校以外でも寮生のみでの避難訓練やマニュアルの提示、コロナウイルス感染対策など日頃からの体調管理等の意識付けを行なっている。



【野球によるけが・事故】

野球競技は、硬式・軟式に限らずプレーする中でボール・バットなどの道具を使用し、さらに投げる・打つといった行為が加わることから、他の競技に比べても危険性の多いスポーツであると考えられる。また、スライディングや捕球時など多くの接触プレーも加わり、公益財団法人日本高等学校野球連盟においても、安全対策に対しての多くの規定が定められている。しかし、事故数は減ることがなく、中でも歯牙や眼球に関する外傷が8割を占めていることが過去のデータにおいても示されている。

本校においても、大事には至らなかったものの、過去に練習中（ノック時）のイレギュラーバウンドにより鼻を折るけがや打球がフレームから跳ね返り顔に当たる事故、試合中に投手が投じたボールが打者の顎に直撃し骨折した事故、トレーニング中に生徒同士がぶつかり前歯を折る事故などのけががあった。

【マウスガードの取り組み】（MGはマウスガード）

アンケート実施（2021.12.14）：マウスガードについての認識調査

①第1回安全指導（2021.12.16）：マウスガードについての認識

②第2回安全指導（2021.12.16）：歯牙についての知識と外傷について認識

③市販MG作成・装着（2021.12.16）

市販MGアンケート実施（2021.1.10）

④カスタムタイプMG印象採得(1)（2021.12.26）

⑤カスタムタイプMG装着（2022.1.9）

カスタムタイプMG印象採得(2)（2022.1.9）

カスタムタイプMG装着（2022.1.30）

MGアンケート実施（2022.3.4）

⑥カスタムタイプMG調整（2022.3.10）

アンケート実施（2022.4.14）

保護者アンケート実施（2022.4）

MGアンケート実施

アンケート実施（2022.9.2）



【成果と考えられること】

本校ではこれまで我々指導者が『マウスガード』に対しての認識（パフォーマンスの向上のみ）が先行しており、生徒が対外的に格好を意識して着用することや何より第三者から装着してプレーした際に生じる誹謗中傷などを考慮し、使用を禁止させておりました。また、10年前頃には数社の既製品の販売業者より多くのアプローチがありましたが、金額や販売方法など不審に思う部分も多く感じておりました。

その為、本事業のお話をいただいた際も浅はかな認識により当初はお断りさせていただく考えでありました。しかし、本事業に参加させていただき、安全予防の観点からの『マウスガード』の効果を認識し、大変重要なことに気づかせていただきました。特に全部員に対してマウスガードを提供いただき、生徒たちへのけが予防に対する意識を広げていただきましたこと、貴重な経験をさせていただきましたことに感謝いたします。何より学校や指導者に安全教育に対する意識がこれまで以上に強く芽生え、再確認、また新たに多くのことを学びました。



【課題と考えられること】

- ①競技性：グラブの着用、時間（試合・練習）、ポジション、発声、など
- ②面 倒：日常（毎日の練習）での習慣化に至らない
- ③指導者：指導者の認識（考え・想い）

【その他】

①女子生徒のマウスガード装着について

本校では女子硬式野球部に70名を超える女子生徒が所属しております。マウスガード事業を通して女子生徒（特に野球競技）に対しての安全教育の必要性を強く感じました。



②普及・宣伝（マスコミ、メディアなど）

マウスガードの幅広い普及、安全喚起を促すためマスコミやメディアを通して、宣伝していきたいと思います。



【総括】

この度は、本事業に本校をご指定いただき、生徒たちに貴重な体験・学習の場をいただきまして心よりお礼申し上げます。日本学校歯科医会・学校安全教育調査研究委員会様、岩手県歯科医師会様の先生方には多大なるご支援とご協力をいただきましたこと深く感謝いたします。

今回の事業では、生徒が自らの身を自分で守る為の知識や意識付け、さらには生徒を守るための環境など我々大人(学校・指導者)が担う重要性をマウスガードを通して確認することができました。今後はさらに各種の安全教育への取り組みを学校内で進めていきたいと思いをします。

マウスガードを使った安全指導の取組(2021・2022年度)

浦和学院高等学校

①学校紹介

さいたま市北西部に位置し、在籍生徒は約2400名の大規模校である。運動部活動が盛んであり、校務分掌に「健康と安全推進部」を設置し安全・安心な教育環境作りに学校をあげて取り組んでいる。

②野球部紹介

全学年90名程度の選手が在籍し、全国大会出場を目指して日々、活動している。

2017年より継続的に歯牙に関する外傷防止を中心とした安全教育に力をいれて取り組んでいる。

③マウスガードを使った安全指導の経過

安全指導 第1回



安全指導 第2回



アンケートの回答



市販マウスガード作製実習



カスタムタイプマウスガード印象採得



カスタムタイプマウスガード装着



カスタムタイプマウスガード調整



④その後の野球部での活動

投球練習前に

トレーニング中

防球ネット補修

打撃練習時

注意喚起表示



⑤その他の校内での安全対策

緊急シミュレーション研修

緊急時コーナー

防災マニュアル



<取り組みの成果と課題>

1. 成果として考えられること

具体的な活動として

- ①どのような事故が多いかという事例を知り整理を行った。
- ②発生事例を参考にしてどのように事故を回避するのかの検討を行った。
- ③事故の状況を指導者と選手が把握し情報共有を行った。
- ④事故後の対応について定型化を行い、指導者や選手が対応しやすい形を整えた。
- ⑤繰り返される事故については特に注意を払うよう情報共有を行った。
- ⑥すでにマウスガードを使用している部活動との情報共有を行った。
- ⑦防球ネットや防具を正しく使用することの再確認を行った。
- ⑧器具の点検修理などの回数を増やし内容を充実させた。
- ⑨マウスガード作製時には学校歯科医の先生にも参加していただいた。

選手としての活動を長く続けていくための基礎的知識として体力やスキル向上、栄養面の知識だけでなく、選手自身がけがから身を守る事の重要性を継続的に指導してきた。指導者が系統立てて安全指導を行い、選手が事故防止を意識することで不用意なけがの数は減少していくものと考えられる。マウスガードの有効性に関しても選手・保護者・指導者の理解が深まった。野球部の活動が他の部活動にも影響を与え、校内全体の部活動顧問や選手達の事故防止への注意喚起につながった。

2. 課題として考えられること

安全指導への継続的な取り組みができるような仕組みが必要であり、校内でのマニュアルの作成だけでなく、その活用と事故防止への意識付け、さらにはけが予防と治療の両面からの情報共有が重要である。マウスガードに関しては、保護者の理解に加えて手軽に準備できる環境が必要であり、身近な学校歯科医の先生方の協力も重要ではないかと感じた。また、従来の事故リスクに加えて気候の変化による熱中症や落雷・大雨やさらにはコロナウイルスなどの疾病リスクなど危険要素が多様化している。学校としても部活動の顧問への安全指導研修の年次毎のアップデートも必須かと思われる。

3. その他

部活動の在り方が変化してきている現状も踏まえ、部活動中の事故防止への意識は高まりつつある。そのような流れの中でマウスガードに関する取り組みは大変重要だと感じた。装着すれば息苦しさや違和感はあるものの自分の身体を守る防具としての意義の重要性を強調して伝えていきたい。

本校における取り組み状況について

大阪桐蔭高等学校 有友 茂史

マウスガード作製、装着を中心とした、本校の部活動における安全教育が改めて普段の学校生活とは別に初めて独立した形で行われた。

2021年12月15日に安全指導が行われ、本校学校歯科医木田先生より細かく講話頂き、普段あまり安全を意識せずに活動していたことに気付く生徒が多く見られた。

同時に市販マウスガードの作製を行い、たくさんの先生方にご指導頂きながら自作することができた。予想通り違和感を訴える生徒が多く、過去にマウスガードを作製したときと同じく、作製後も装着している生徒は少なく、ウエイトトレーニング時のみ使用する者が多かった。

12月25日に大阪府歯科医師会館の診療室にてカスタムタイプマウスガードの印象採得を行っていただいた。そこでもたくさんの先生方に親切に対応して頂き、生徒達も恐縮しながらもマウスガードに対する期待が膨らんでいた。

2022年1月9日に完成したカスタムタイプマウスガードの装着と同時に調整をしていただいた。生徒たちの市販マウスガードとの違いに驚きながら、何度も装着と取り外しを繰り返している姿が見られた。その後、普段の練習中にもカスタムタイプマウスガードを装着している状況が多く見られた。特にトレーニング時期でもあったので、ランニング系のトレーニング時以外に装着していた。

それから山崎先生より調整の打診を多数回頂いたが、選抜大会を控えていることもあり、チーム内での競争が中心となり、時間をとることができなかった。生徒も技術向上に集中して、装着率も下がり、安全面においてもほとんどの場面で指導者が注意喚起する状況であった。

選抜大会が終わり、春季大会がすぐに始まったが、新入生の入学を機に在校生のマウスガードの調整をしていただいた。

もう少し生徒のマウスガードに対する関心度を向上させるために、透明の物から白色の物に変更していただき、再び装着率が向上した。3年生の投手がマウスガード装着によりバランスがよくなり、安定感も増しエースとして活躍するようになった。

新入生において関心は大きかったが、新生活に慣れることに精一杯で、安全面、マウスガードの装着についてはなかなか向上しなかった。

その後チームとして春季近畿大会、夏の選手権予選、甲子園と公式戦が続き、再びチーム内の競争に没頭する時期が続いた。

夏の大会が終わり、新チームになる時期に再度取り組みを強化しようとしたが、秋季大会、国体、近畿大会と公式戦が続き、なかなか時間を割くことができなかった。

一方、この時期に環境安全についての注意喚起を図り、雨天練習場のネットを張り替え、全ての防球ネットの補修を行った。

オフシーズンに再度安全教育とマウスガードの活用について取り組みを予定しているが、神宮大会への出場が決まり、来年の選抜大会の出場も期待されることから、生徒の意識は益々技術向上とチーム内の競争に向いている状態である。

2022年のシーズンは、全ての大会に出場するという希なシーズンで、なかなかチームとして安全教育に特化して活動することができなかった。指導者として大きな課題をいただいたシーズンとなった。

そのような状況であったので、特に指導者には安全面の配慮を促し、活動中にも少しでも安全面に不安を感じたときには指摘するように指示した。

生徒達は何より部活動を優先して行う傾向にある中で、指導者がいかなる時においても安全、健康面を意識して指導できるかを実感できた。

これからも先生方のご助言をいただきながら、生徒たちが安心して活動できる環境を提供できるよう追求していきたい。

2021年度 1・2年生

<第2回安全指導>



<市販マウスガード自作>



<カスタムタイプマウスガード印象>



<カスタムタイプマウスガード装着>



2022年度 1年生

<第2回安全指導>



<市販マウスガード自作>



<カスタムタイプマウスガード印象採得>



<カスタムタイプマウスガード装着>



<補修後の練習場ネット>



<取り組みの成果と課題>

1. 具体的な成果として

- ① クラブ活動を行う上で、事故例等を認識することによって、意識的に安全行動をとることができるようになった。
- ② 部全体として取り組めたので、安全に対する声かけが活動中にできるようになった。
- ③ 事故だけではなく、けが等に対する報告体勢が整った。
- ④ 防球ネット等の設備の整備を再確認できた。
- ⑤ マウスガードの有効性を全部員で共有することができた。
- ⑥ 部活動の成績が向上し、安全行動を含む部活動以外の活動も成績向上の要素となることを認識できた。

部活動は高等学校教育活動の一部であり、練習、試合を行うだけではなく、あらゆる面を総合的に意識して活動することが効果的であるということが認識できた。

特に、あらゆる状況で部員同士が声を掛け合い、情報を共有することの重要性が身につき、部全体の雰囲気非常に高まった。

2. 課題

マウスガードに対する認識は非常に高まったが、どちらかというとパフォーマンスの向上を期待していた面が強く、(対効果的) 外傷予防を主としたマウスガードに対して期待が薄れていたように感じる。

マウスガード装着については、頻度が上がるほど違和感が増して、装着率が下がっていることがこれからの課題である。

チームの成績が向上するに伴い、安全意識よりも技術向上に意識が偏る傾向が見られた。指導者による注意喚起が重要だと思われた。

環境面での安全環境への取り組みが、予算的なこともありスピード感が多少不足している面もこれからの課題と思われる。

マウスガードを使った安全指導経過報告(2021・2022年度)

新田高等学校

①学校紹介

松山城を眺める松山市中心部に位置し、在籍生徒は約1800名であり、今年創立84年を迎えた歴史ある高校である。部活動が盛んで15種目でインターハイに出場するなど、目覚ましい活躍をしている。建学の精神は、健全有為な人材の育成である。

②野球部紹介

全学年80名程度の選手が在籍し、甲子園大会で勝つことを目標にして活動している。
高校生として野球だけでなく、全てのことに全力を尽くし自分自身を高めることを指針にしている。

③マウスガードを使った安全指導の経過

○2021年度 第2回安全指導(教室)



○2021年度 市販マウスガード作製実習(調理実習室)



○2021年度 カスタムタイプマウスガード印象採得(調理実習室)



○2022年度 カスタムタイプマウスガード印象採得(愛媛県歯科医師会 愛媛県口腔保健センター)



○2021年度 カスタムタイプマウスガード装着(調理実習室)



○2022年度 カスタムタイプマウスガード装着(愛媛県歯科医師会 愛媛県口腔保健センター)



<取り組みの成果と課題>

①成果として考えられること

具体的な活動、取り組み

- マウスガード(ラグビー部・ボクシング部)を使用している部活動の顧問との情報共有を行った。
- 野球部において過去にどのようなけがや事故が多かったのかという事例を振り返った。
- 保健室の教員(養護教諭)とけがや事故の発生事例を参考にしてどのように事故を回避するのかの検討を行った。
- けがや事故の状況を指導者と選手が考える時間を設けた。
- 防球ネットや野球用具の点検、修理などの回数を増やして確認をした。
- 他の部活動(女子硬式野球部)にマウスガードの使用を進めた。

マウスガードの装着や安全アンケートなどにより選手のけがに対する自己防止、危険意識が高まった。選手の安全意識の向上により全体的に練習やプレー中のけがが減ってきたと思われる。

また、保護者のマウスガードの理解や安全面の知識が深まったと考えられる。

②課題として考えられること

部員の中にはマウスガードを装着していないものがある。理由は手入れ時における手間や装着時の違和感、声が出しづらいなどがある。その理由の一つとして指導者がけがや事故の防止、安全意識の重要性を伝えきれていない現状であると感じた。

また、今後のマウスガードの普及や定着においては金額の高さを指摘する面がある。

けがや事故防止に関しては、指導者の安全意識の継続的な取り組みや益々の向上が必要と思われる。

コロナ禍において、度重なる日程の変更やこちらの試合、大会の都合などにご対応いただきました先生方、大変ありがとうございました。

3. 調査結果

(1) マウスガードに関するアンケート調査結果

① 方法

本調査は2021(令和3)年度から2022(令和4)年度に、岩手県、埼玉県、大阪府および愛媛県下の高等学校4校の硬式野球部所属男子生徒354名を対象に実施された。各校の顧問・指導者による安全指導と学校歯科医による安全教育、すなわち委員会で作成したパワーポイント教材「スポーツ活動中の歯・口のけが防止と応急の処置～中高校生へのアドバイス～」を活用した講話を行った後、市販マウスガードの自作体験、カスタムタイプマウスガードの製作提供を順次行い、それぞれの着用態度、使用理由および使用上の不満についてアンケート調査を行った。

② マウスガードの仕様

市販マウスガード

特徴：選手自身の手で調整するタイプで、熱湯につけて軟らかくしたマウスガードを口腔内で成形する。

材料：Boil & Biteタイプ、EVA製、クリアカラー



市販マウスガード



生徒が成形している風景(D校)

カスタムタイプマウスガード

特徴：歯科で歯型と噛み合わせを取って個別製作するタイプで、専用シート材と成形機にて加熱成形する。

材料：マウスガード用シート材料、EVA製、ホワイトカラー、3mm厚(吸引成形の場合)／4mm厚(加圧成形)

構造：シングルレイヤー(単層式)

設計：外形は唇頬小帯を避けて口腔前庭最深部から5mm浅いライン、口蓋は歯頸線に一致、後縁は第一大臼歯まで被覆。厚みは唇頬側面2mm厚、口蓋側面1mm厚。挙上量は安静空隙におよそ一致。咬合付与は浅い圧痕付与、全歯均等接触、咬合干渉除去。



印象・咬合採得(A校)



印象・咬合採得(C校)



セット・調整(D校)

③ 結果

マウスガードの着用態度について

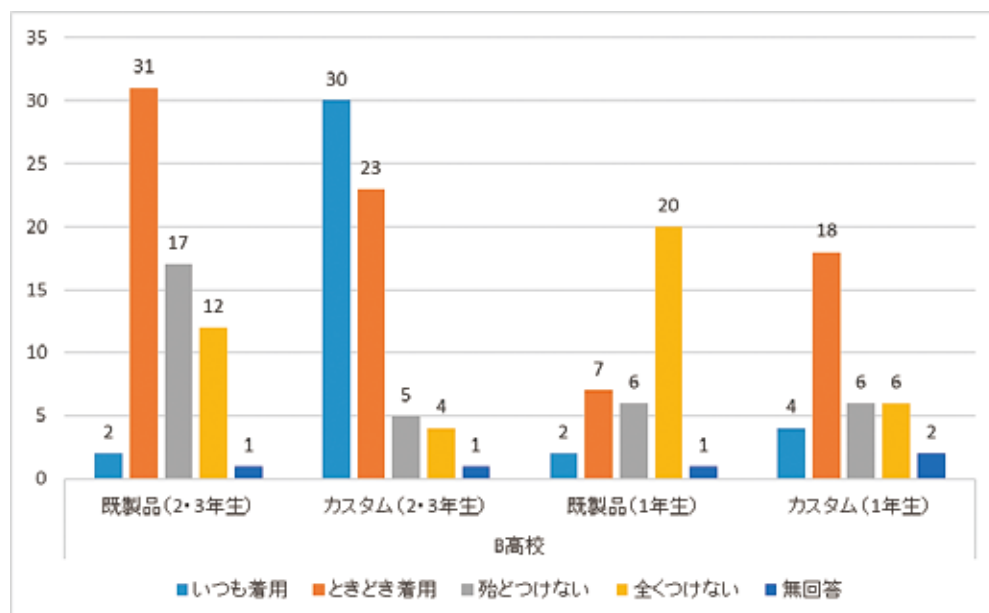
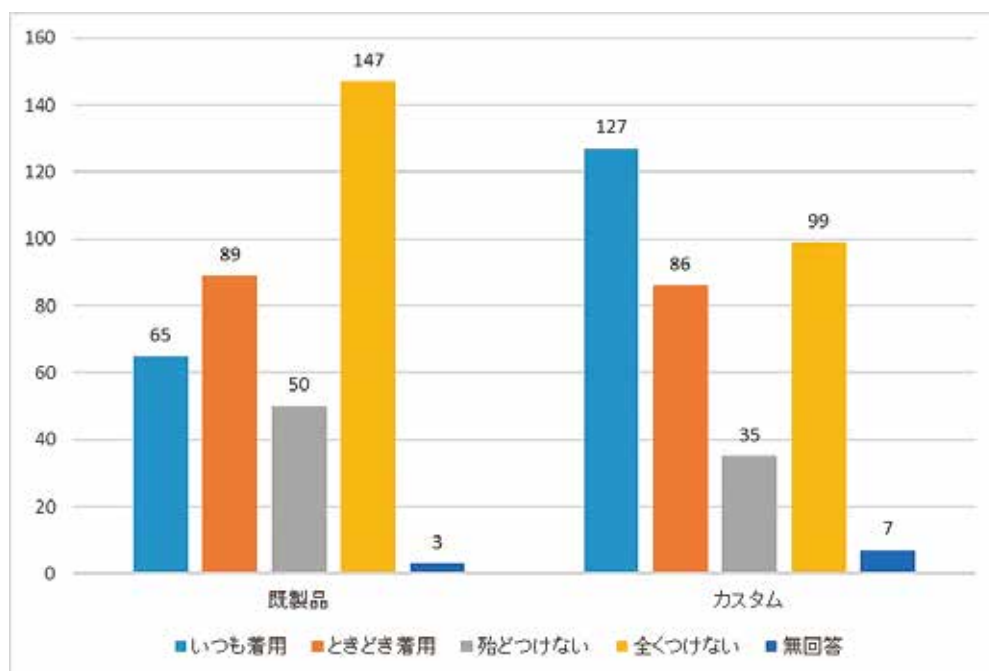
全体傾向として市販マウスガードよりカスタムタイプマウスガードのほうがマウスガードの装着態度は良好で、これまでの調査研究の成果を支持するものであった。しかし着用が難しい生徒もいた。とりわけキャッチャーである。そもそもマスクを着用しているため必要性が薄く、チームメイトに守備位置や陣形、戦術の指示を出すポジションなので困難を感じると考えられた。いずれにせよマウスガード着用の習慣化を図る上で、本人に

対する動機付けのみならず、顧問・指導者からの助言やチーム内での声掛け、保護者への働きかけが不可欠と思われる。

＜4校の全体的傾向＞

マウスガード	Q1. マウスガード着用について				
	いつも着用	ときどき着用	殆どつけない	全くつけない	無回答
市販MG	65	89	50	147	3
カスタムタイプMG	127	86	35	99	7

＜参考データ＞ 2・3年生と1年生での比較—B校の場合—



マウスガードの使用理由について

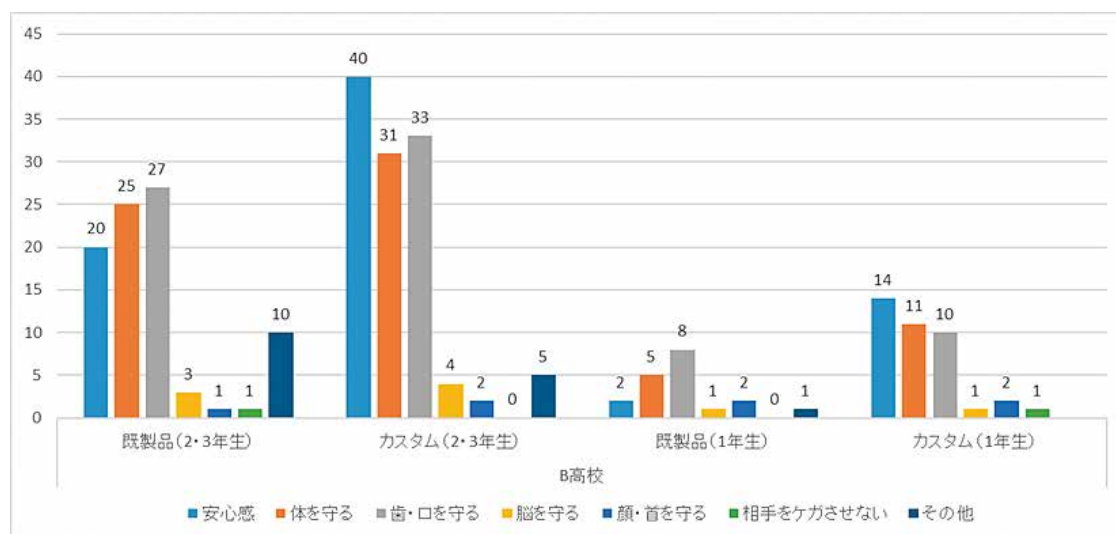
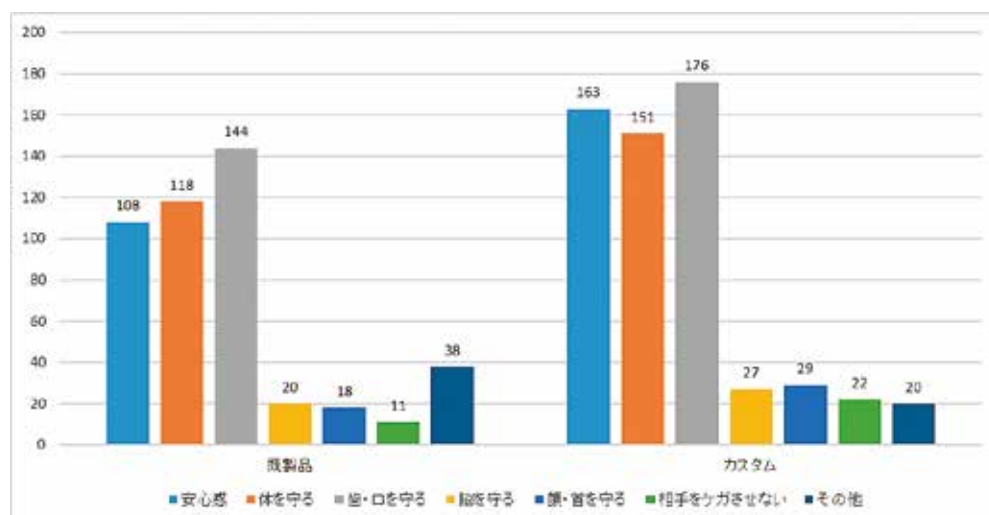
各校生徒ともに、マウスガードの主な役割である「歯・口を守る」を始め「安心感」「体を守る」といった点をよく理解しており、顧問・指導者および学校歯科医から教授された安全教育の成果と考えられる。実際、生徒たちからは「授業を受けて大切だと感じたからつけようと思った」「けがにより練習を止めたくないから」といった声が寄せられた。スポーツにおける安全の確保は最優先事項であり、学校関係者が一丸となって安

全教育を推進し、安全保護具の着用を普及指導していくことの重要性が改めて確認された。

＜4校の全体的傾向＞

マウスガード	Q2. マウスガードを使う理由について（複数回答可）						
	安心感	体を守る	歯・口を守る	脳を守る	顔・首を守る	相手を けがさせない	その他
市販MG	108	118	144	20	18	11	38
カスタムタイプMG	163	151	176	27	29	22	20

＜参考データ＞ 2・3年生と1年生での比較—B校の場合—



安全教育 (B校)



安全教育 (C校)



使用したパワーポイント教材

＜生徒の声、感想や意見＞

市販マウスガード：授業を受けて大切だと感じたからつけようと思った（同様コメント3件）／けがにより練習を止めたくないから／実際どんな感じかを試してみたかった（6）／着けてプレーしてみたらいつもの自分とどう

変わるのか知りたかったから／この取り組みがあったから／歯が欠けないように／けがをしないため／パワーが少し上がると聞いたから／力が入る感じがするから(2)／力を入れる時にマウスガードをしている時の方が安心して歯を食いしばれるから／強く咬むことができるから／自分の中で力を最大限に出せるから／力を入れた時に歯に力がかかり傷つかないため／力を入れやすくしたいから／力が入りやすいから(5)／付けていたら力が出るよう踏ん張れるから／力むことなく必要な力を最大限出したいから／より歯を強く噛めて大きい力を出せるから／パフォーマンスが上がると思ったから／効果が得られるかもしれないから／力が入ってプレイがよくなる。

カスタムタイプマウスガード：市販マウスガードよりフィットして使いやすいから／力が入りやすい(5)／強く食いしばることができる／噛みしめる力が強くなりウエイトトレーニングで重量を上げやすくなったと感じた／力を入れるため／強く踏ん張れるから／筋トレで記録が伸びると思ったから／トレーニングの際スクワットをする時につけると安心感が増やしてより良い重量をあげることができるから／歯並び良くて顔などのゆがみをなくしたりする。

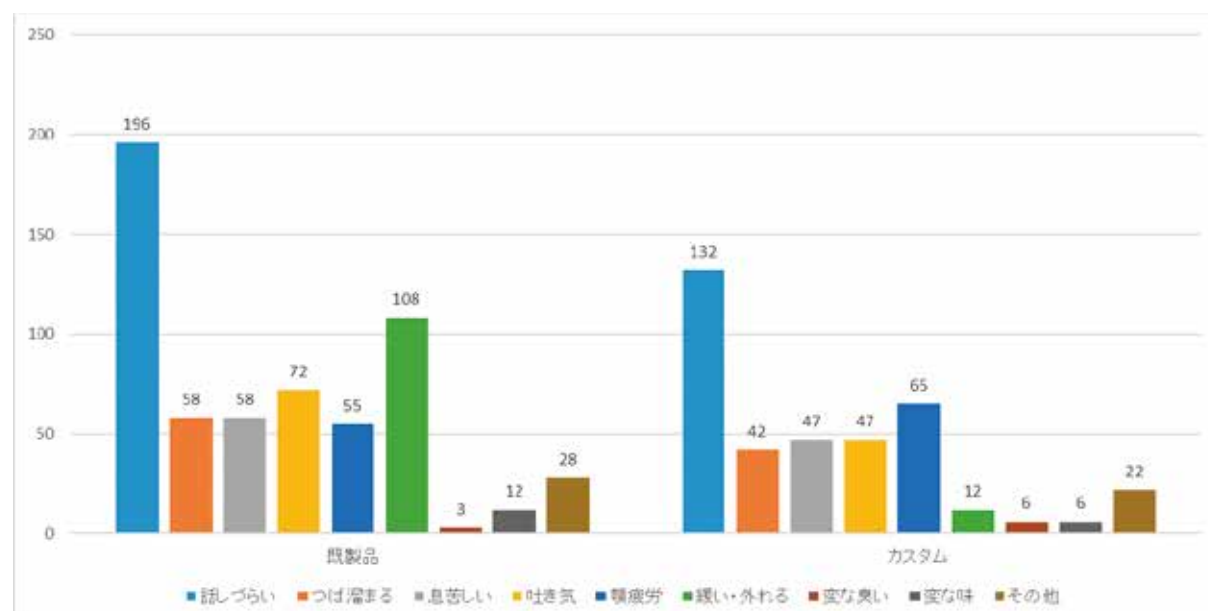
使用上の不満について

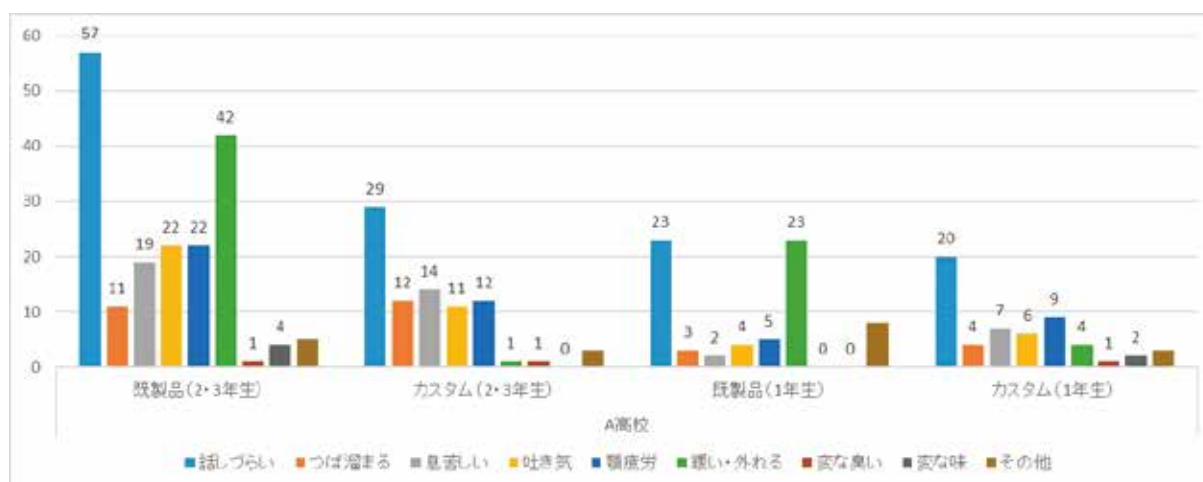
カスタムタイプマウスガードより市販マウスガードのほうが「話しづらい」「つばが溜まる」「緩い・外れる」「吐き気」といった項目で不満を訴える生徒が多かった。カスタムタイプマウスガードであっても「話しづらい」や「顎疲労」を訴える生徒が一定数いたので、セット後もきめ細かい調整を加えながらフォローしていくことが大切である。

< 4校の全体的傾向 >

マウスガード	Q3. マウスガードを使わなかった理由について(複数回答可)								
	話しづらい	つば溜まる	息苦しい	吐き気	顎疲労	緩い・外れる	変な臭い	変な味	その他
市販MG	196	58	58	72	55	108	3	12	28
カスタムタイプMG	132	42	47	47	65	12	6	6	22

< 参考データ > 2・3年生と1年生での比較—B校の場合—





<生徒の声、感想や意見>

市販マウスガード：マウスガードを上手く作成することが出来ませんでした／大きな声が出しづらい話しづらい(3)／大声で外れる／すぐに外れるためあまり力が入らない／外した後の違和感が凄い／あまり咬むことの少ない練習だと思ったから／自分の型に合わず着けようにも付けられないので着けませんでした／自分に合わなかった使いづらかった(3)／すぐに落ちてしまい邪魔だったから(2)／普段当たらない所に当たって気持ち悪かった／付けようと思ってもその時になると忘れてしまう／付けようと思ったことが一度もないから／付けるならしっかりしたものをつけたい／付けるタイミングがない(2)／必要性がよくわからない／本当に効果があるかわからないから／よくわかりません／つけるのを忘れていた／集中できない／つけるのが面倒くさい(2)／キャッチャーなので必要ないと思ったから／けがのリハビリ中のため練習に参加していないから(2)

カスタムタイプマウスガード：紛失してしまった／強く咬んだ時少し吐き気がする／ランニングになると少し呼吸が難しい／はめると歯茎が痛い(2)／付けると意識してしまって集中出来ない／自分の歯に合っていなかった／ゲーム形式の練習をしていない／誰もつけていなくて着けづらかった／外す時に洗いに行って濡れているのを乾かすまでが少し長い／キャッチャーなので必要ないと思ったからマスクがあり歯などのけがの恐れがないから(3)／付けている時間がない／トレーニング時に必要ではない／使うのが面倒／効果をあまり感じない付けても付けなくても変わらない(4)／付ける必要がないと思ったから(2)

(2) 安全意識等に関するアンケート調査結果

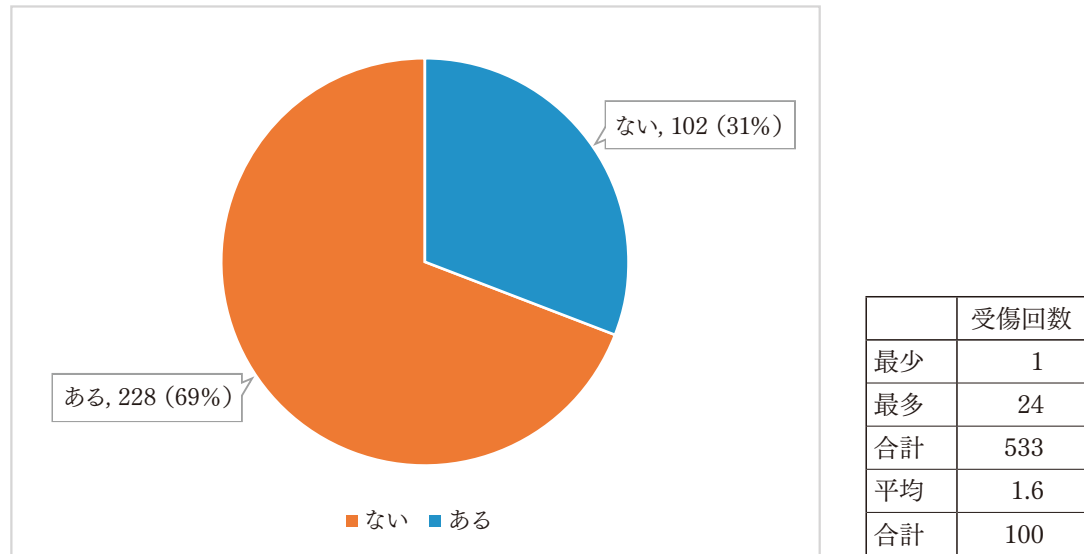
①方法

各校の顧問・指導者による安全指導と学校歯科医による安全教育(前期委員会で作成した安全教育用PPTスライド「スポーツ活動中の歯・口のけが防止と応急の処置～中高校生へのアドバイス～」を活用した講話)が終了した時点で、生徒たちの安全意識等に関するアンケート調査を実施した。さらに、生徒たちの安全意識等は時間の経過とともに変化していくことが予想されたため、データの推移を追跡調査することを目的に、断続的にアンケート調査を重ねてもらった。

② 結果

第1回調査データのまとめ、4校の全体的傾向

Q 1～3. 中学入学から現在までの間、けがをして病院診療所で治療を受けたことがあるか。



発生場所	回答数
1. 学校内(体育館等の屋内)	26
2. 学校内(運動場等の屋外)	181
3. 学校周辺(道路等)	8
4. 学校外の施設等	86
5. 通学路等	7
6. 自宅および自宅周辺(公園等)	9
7. その他	104
計	421

活動内容	回答数
1. 保健体育授業	19
2. その他の授業	2
3. 野球部活動	309
4. 野球以外の運動部活動	21
5. 体育的な学校行事	1
6. 文化的な学校行事	1
7. 休憩時間・放課後	11
8. その他	53
計	417

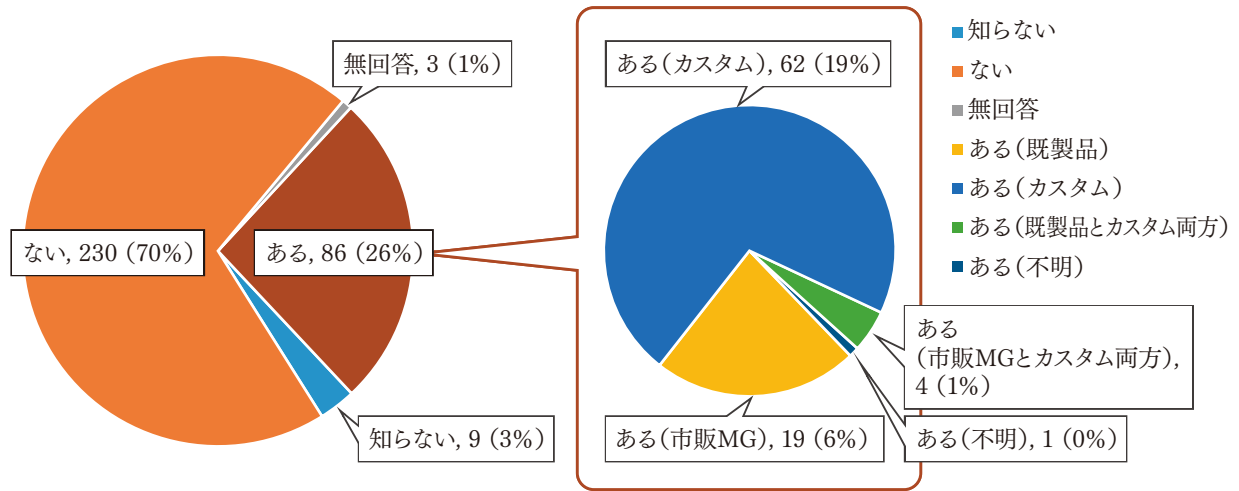
けがの部位	回答数
1. 前額	1
2. 眼	10
3. 頬	1
4. 耳	2
5. 鼻	6
6. 口	5
7. 歯	8
8. 顎	9
9. 頭部(1～8以外)	10
10. 体幹	114
11. 上肢	124
12. 下肢	129
計	419

けがの種類	回答数
1. 骨折	122
2. 捻挫	28
3. 脱臼	12
4. 挫傷・打撲	56
5. 挫創	0
6. 切り傷	15
7. 擦過傷	3
8. 熱傷・火傷	3
9. 歯牙破折	3
10. その他	159
計	401

(複数回答あり)

Q 4～5. マウスガードを使用したことがあるか。ある場合、市販マウスガードとカスタムタイプマウスガードのいずれだったのか。そして、どんな状況で使用したのか、教えてください。

【マウスガードを使用したことがある生徒の内訳】

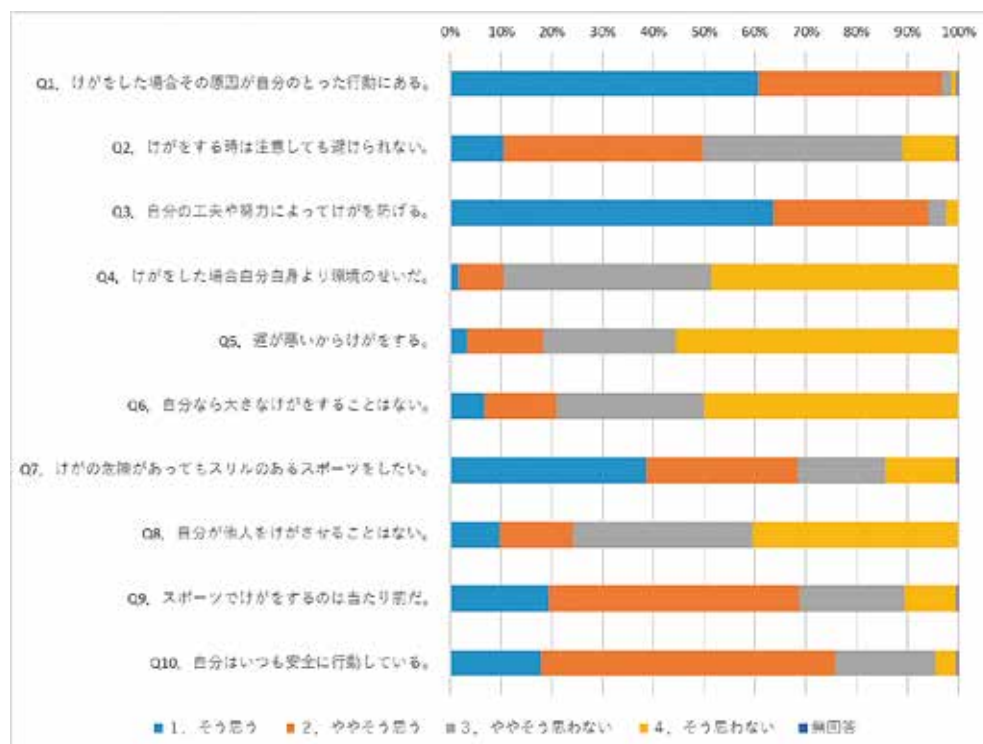


使用状況	回答数
1. 試合(部活動)	15
2. 練習(部活動)	73
3. 体育授業	2
4. その他	11
計	101

(複数回答あり)

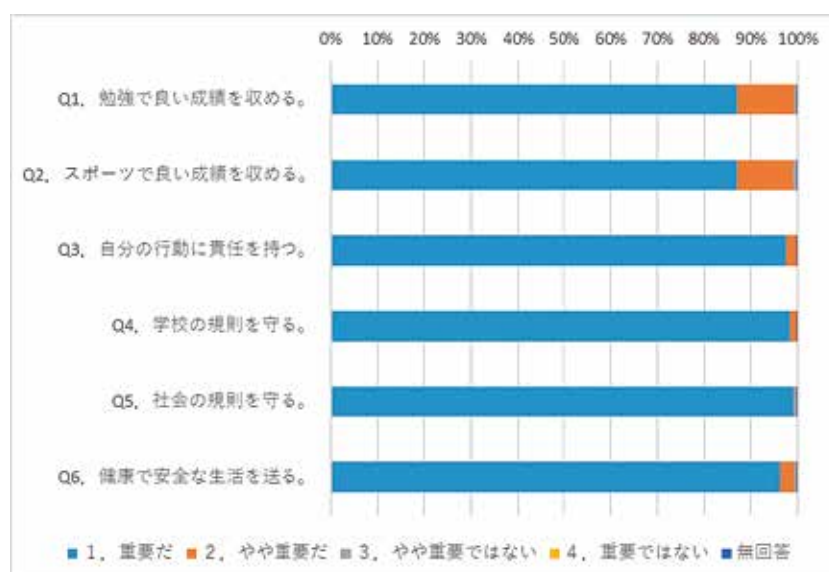
Q 6. あなたの意見に最も近いものを選んで下さい。迷わず、感じたままに答えて下さい。

	Q1. けがをした 場合その原 因が自分の とった行動 にある。	Q2. けがをする 時は注意し ても避けら れない。	Q3. 自分の工夫や 努力によっ てけがを防 げる。	Q4. けがをした 場合自分自 身より環境 のせいだ。	Q5. 運が悪い からけがを する。	Q6. 自分なら大 きなけがを することは ない。	Q7. けがの危険が あってもスリ ルのあるスポ ーツをしたい。	Q8. 自分が他人 をけがさせる ことはない。	Q9. スポーツで けがをする のは当たり 前だ。	Q10. 自分はいつ も安全に行 動している。
1. そう思う	215	37	225	6	12	24	137	35	69	63
2. ややそう思う	128	139	108	31	53	50	105	51	175	205
3. ややそう思わない	6	139	13	145	92	103	61	125	73	70
4. そう思わない	4	38	8	172	197	177	50	143	36	15
無回答	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1



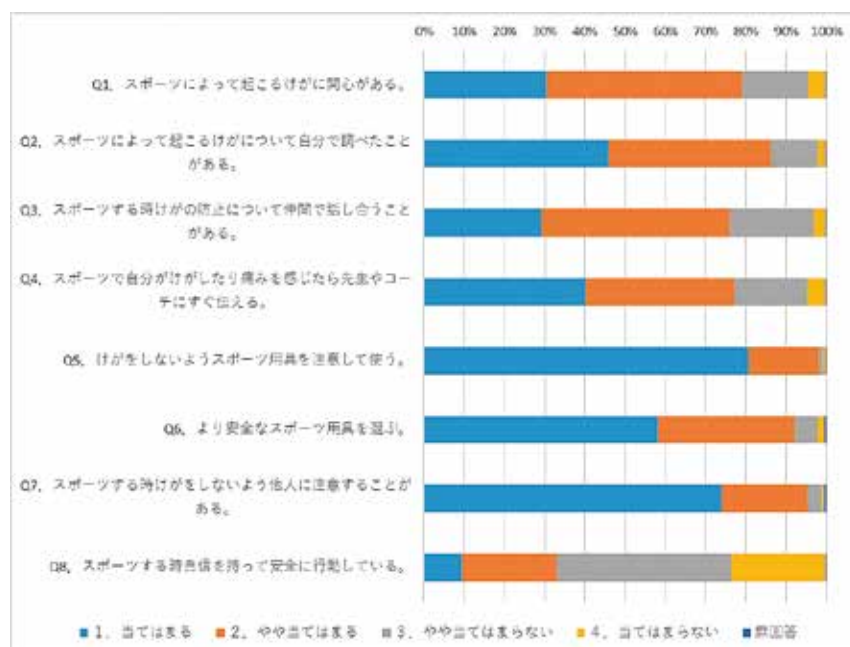
Q 7. あなた自身にとって重要であるかどうか、当てはまるものを選んでください。

	Q1. 勉強で良い成績を収める。	Q2. スポーツで良い成績を収める。	Q3. 自分の行動に責任を持つ。	Q4. 学校の規則を守る。	Q5. 社会の規則を守る。	Q6. 健康で安全な生活を送る。
1. 重要だ	308	308	345	348	351	341
2. やや重要だ	44	42	8	5	1	11
3. やや重要ではない	1	3	0	0	1	1
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1



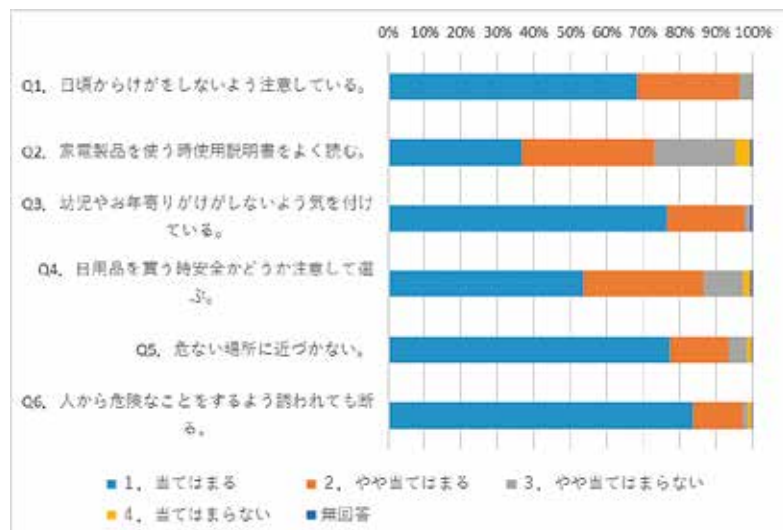
Q 8. 部活動などスポーツに関する質問です。当てはまるものを選んでください。

	Q1. スポーツ によって 起こるけ がに関 心があ る。	Q2. スポー ツによ って起 こるけ がにつ いて自 分で調 べたこ とがあ る。	Q3. スポー ツする 時けが の防止 につい て仲間 で話し 合うこ とがあ る。	Q4. スポー ツで自 分がけ がしたり 痛みを 感じたら 先生や コーチに すぐ伝え る。	Q5. けがをし ないよう スポーツ 用具を 注意して 使う。	Q6. より安全 なスポー ツ用具 を選ぶ。	Q7. スポー ツする 時けが をしな いよう 他人に 注意す ることが ある。	Q8. スポー ツする 時自信 を持って 安全に 行動し ている。
1. 当てはまる	108	162	103	142	286	206	262	33
2. やや当てはまる	172	143	166	131	61	120	75	84
3. やや当てはまらない	58	41	74	64	4	20	13	15
4. 当てはまらない	15	7	10	16	2	6	2	83
無回答	1	1	1	1	1	2	2	1



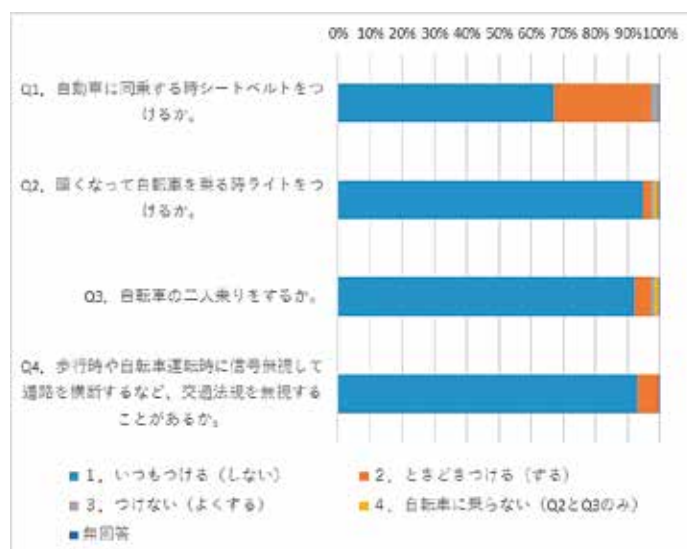
Q 9. スポーツ以外の日常生活に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

	Q1. 日頃か らけが をし ないよ う注意 してい る。	Q2. 家電製 品を使 う時使 用説明 書をよ く読む 。	Q3. 幼児や お年寄 りがけ がしな いよう 気を付 けてい る。	Q4. 日用品 を買う 時安全 かどうか 注意し て選ぶ 。	Q5. 危ない 場所に 近づか ない。	Q6. 人から 危険な ことを するよう 誘われ ても断 る。
1. 当てはまる	242	130	271	190	275	296
2. やや当てはまる	99	128	75	116	57	49
3. やや当てはまらない	11	79	6	39	18	4
4. 当てはまらない	1	15	0	7	5	4
無回答	1	2	2	2	1	1



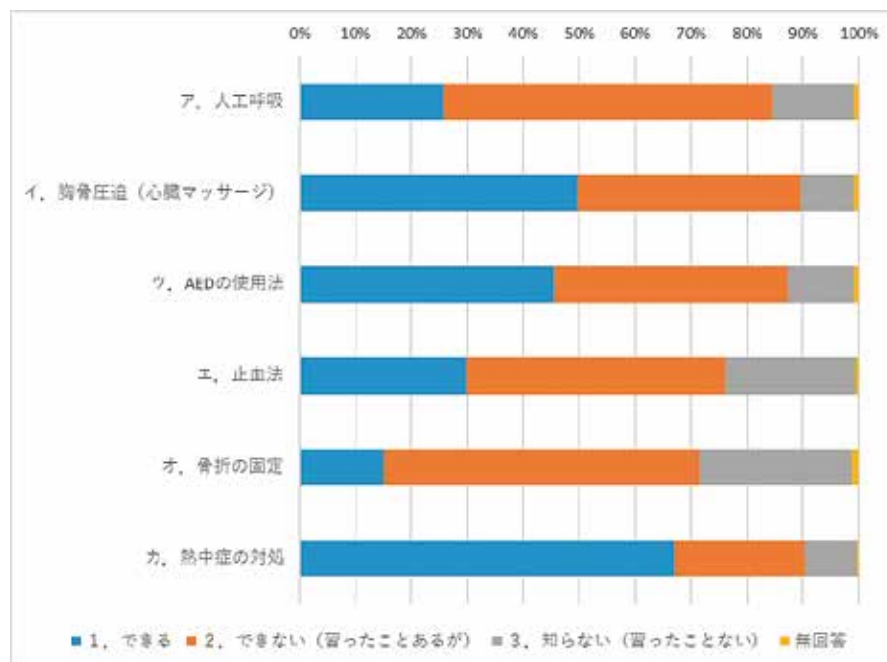
Q10. 交通安全に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

	Q1. 自動車に同乗する時シートベルトをつけるか。	Q2. 暗くなって自転車に乗る時ライトをつけるか。	Q3. 自転車の二人乗りをするか。	Q4. 歩行時や自転車運転時に信号無視して道路を横断するなど、交通法規を無視することがあるか。
1. いつもつける(しない)	238	335	326	329
2. ときどきつける(する)	106	9	18	24
3. つけない(よくする)	9	3	4	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		5	5	
無回答	1	2	1	1



Q. 以下の応急手当について、自分でできる方法がありますか。

	ア. 人工呼吸	イ. 胸骨圧迫 (心臓マッ サージ)	ウ. AEDの 使用法	エ. 止血法	オ. 骨折の固 定	カ. 熱中症の 対処
1. できる	91	176	151	106	54	237
2. できない(習ったことあるが)	208	141	138	163	199	83
3. 知らない(習ったことない)	52	34	39	83	97	33
無回答	3	3	3	2	4	1



安全意識等データの推移－B校、2・3年生の場合－

Q6(2回目以降Q1相当). あなたの意見に最も近いものを選んで下さい。迷わず感じたままに答えて下さい。

第1回調査(2021年12月)

質 問 6										
	Q1. けがをした 場合その原 因が自分の とった行動 にある。	Q2. けがをする 時は注意し ても避けら れない。	Q3. 自分の工夫や 努力によっ てけがを防 げる。	Q4. けがをした 場合自分自 身より環境 のせいだ。	Q5. 運が悪い からけがを する。	Q6. 自分なら大 きなけがを することは ない。	Q7. けがの危険が あってもスリ ルのあるスポ ーツをしたい。	Q8. 自分が他人 をけがさせる ことはない。	Q9. スポーツで けがをする のは当たり 前だ。	Q10. 自分はいつ も安全に行 動している。
1. そう思う	46	10	33	2	1	7	15	5	11	12
2. ややそう思う	16	21	23	6	13	6	20	8	30	33
3. ややそう思わない	1	28	4	28	15	19	15	20	17	14
4. そう思わない	0	3	3	27	34	31	13	30	5	4
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	36	5	41	2	2	3	22	5	18	9
2. ややそう思う	26	32	20	13	14	11	25	9	27	39
3. ややそう思わない	1	20	2	32	26	16	10	25	14	13
4. そう思わない	0	6	0	16	21	33	6	24	4	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第2回(1月)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	48	12	43	3	3	4	19	3	14	18
2. ややそう思う	14	25	16	15	10	8	24	12	29	32
3. ややそう思わない	0	18	3	28	25	18	14	22	15	9
4. そう思わない	0	7	0	16	24	32	5	25	4	3
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第3回(2～3月)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	34	6	36	1	2	1	17	5	11	10
2. ややそう思う	29	26	25	16	16	9	28	12	32	41
3. ややそう思わない	0	22	0	34	31	20	11	20	15	8
4. そう思わない	0	9	2	12	14	33	7	26	5	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	39	8	38	3	2	3	23	5	13	25
2. ややそう思う	22	24	23	17	16	11	24	11	29	28
3. ややそう思わない	0	23	0	28	24	16	5	18	15	7
4. そう思わない	0	6	0	13	19	31	9	27	4	1
無回答	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

第5回(6月)

Q7(Q2). あなた自身にとって重要であるかどうか、当てはまるものを選んでください。

質 問 7						
	Q1. 勉強で良い成績を収める。	Q2. スポーツで良い成績を収める。	Q3. 自分の行動に責任を持つ。	Q4. 学校の規則を守る。	Q5. 社会の規則を守る。	Q6. 健康で安全な生活を送る。
1. 重要だ	56	59	61	62	63	61
2. やや重要だ	7	3	2	1	0	2
3. やや重要ではない	0	1	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第1回(12月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	57	57	61	62	63	62
2. やや重要だ	5	6	2	1	0	1
3. やや重要ではない	1	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第2回(1月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	55	59	60	60	61	60
2. やや重要だ	6	3	2	2	1	2
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	2	1	1	1	1	1

第3回(2～3月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	59	59	62	63	63	63
2. やや重要だ	4	4	1	0	0	0
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	56	57	60	61	61	60
2. やや重要だ	4	3	1	0	0	1
3. やや重要ではない	1	1	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	2	2	2	2	2	2

第5回(6月)

Q8(Q3). 部活動などスポーツに関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 8								
	Q1. ス ポー ツによ って起 こるけ がに関 心があ る。	Q2. ス ポー ツによ って起 こるけ がにつ いて自 分で調 べたこ とがあ る。	Q3. ス ポー ツする 時 け がの防 止につ いて仲 間で話 し合う ことが ある。	Q4. ス ポー ツで自 分がけ がした り痛み を感じ たら先 生やコ ーチに すぐ伝 える。	Q5. けがを しない ようス ポーツ 用具を 注意し て使う。	Q6. より安 全なス ポーツ 用具を 選ぶ。	Q7. ス ポー ツする 時 け がをし ないよ う他 人に注 意する ことが ある。	Q8. ス ポー ツする 時自信 を持っ て安全 に行動 している。
1. 当てはまる	19	29	15	30	50	33	45	1
2. やや当てはまる	31	28	28	19	13	24	15	16
3. やや当てはまらない	11	6	20	12	0	4	3	24
4. 当てはまらない	2	0	0	2	0	1	0	22
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0

第1回(12月)

質 問 3								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	22	24	10	22	45	37	41	20
2. やや当てはまる	36	27	26	26	18	23	17	32
3. やや当てはまらない	4	9	22	11	0	3	5	11
4. 当てはまらない	1	3	5	4	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

第2回(1月)

質 問 3								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	36	36	19	29	48	38	47	40
2. やや当てはまる	25	17	26	26	13	16	11	18
3. やや当てはまらない	1	9	14	5	1	8	4	4
4. 当てはまらない	0	0	3	2	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1

第3回(2～3月)

質 問 3								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	22	25	10	18	42	31	41	30
2. やや当てはまる	34	29	32	35	21	28	21	31
3. やや当てはまらない	7	8	16	7	0	3	1	1
4. 当てはまらない	0	1	5	3	0	1	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 3								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	29	32	15	23	48	42	41	32
2. やや当てはまる	26	24	34	31	13	17	19	26
3. やや当てはまらない	6	5	11	5	0	2	1	3
4. 当てはまらない	0	0	1	2	0	0	0	0
無回答	2	2	2	2	2	2	2	2

第5回(6月)

Q9(Q4). スポーツ以外の日常生活に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 9						
	Q1. 日頃からけがをしないよう注意している。	Q2. 家電製品を使う時使用説明書をよく読む。	Q3. 幼児やお年寄りがけがしないよう気を付けている。	Q4. 日用品を買う時安全かどうか注意して選ぶ。	Q5. 危ない場所に近づかない。	Q6. 人から危険なことをするよう誘われても断る。
1. 当てはまる	45	30	48	36	52	55
2. やや当てはまる	15	24	13	23	7	7
3. やや当てはまらない	3	8	2	4	4	0
4. 当てはまらない	0	1	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0

第1回(12月)

質 問 4						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	47	35	49	38	47	51
2. やや当てはまる	16	19	12	23	14	10
3. やや当てはまらない	0	9	1	2	2	2
4. 当てはまらない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	1	0	0	0

第2回(1月)

質 問 4						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	49	34	52	48	46	51
2. やや当てはまる	10	21	9	12	15	10
3. やや当てはまらない	1	6	1	2	0	1
4. 当てはまらない	0	0	0	0	1	0
無回答	3	2	1	1	1	1

第3回(2～3月)

質 問 4						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	41	40	54	41	51	54
2. やや当てはまる	20	21	9	21	9	8
3. やや当てはまらない	2	1	0	1	2	1
4. 当てはまらない	0	1	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 4						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	50	38	50	43	55	52
2. やや当てはまる	11	20	10	18	5	8
3. やや当てはまらない	0	3	1	0	1	0
4. 当てはまらない	0	0	0	0	0	1
無回答	2	2	2	2	2	2

第5回(6月)

Q10(Q5)－1～4. 交通安全に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 10				
	Q1. 自動車に同乗 する時シート ベルトをつける か。	Q2. 暗くなって自 転車に乗る時 ライトをつける か。	Q3. 自 転 車 の 二 人 乗 り を す る か。	Q4. 歩行時や自転 車運転時に信 号無視して道 路を横断する など、交通法 規を無視する ことがあるか。
1. いつもつける(しない)	43	63	62	57
2. ときどきつける(する)	18	0	1	6
3. につけない(よくする)	2	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第1回(12月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	45	61	60	59
2. ときどきつける(する)	17	2	3	4
3. につけない(よくする)	1	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第2回(1月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	46	62	61	59
2. ときどきつける(する)	15	0	1	3
3. つけない(よくする)	1	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	1	1	1	1

第3回(2～3月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	49	62	62	61
2. ときどきつける(する)	13	1	1	1
3. つけない(よくする)	1	0	0	1
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	42	60	61	59
2. ときどきつける(する)	17	1	0	2
3. つけない(よくする)	2	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	2	2	2	2

第5回(6月)

Q10(Q5)－5. 以下の応急手当について、自分でできる方法がありますか。

質 問 10						
	ア. 人工呼吸	イ. 胸骨圧迫 (心臓マッ サージ)	ウ. AEDの 使用法	エ. 止血法	オ. 骨折の固 定	カ. 熱中症の 対処
1. できる	9	23	25	12	4	37
2. できない(習ったことあるが)	48	38	35	41	43	21
3. 知らない(習ったことない)	6	2	2	9	15	5
無回答	0	0	1	1	1	0

第1回(12月)

注)2回目以降の調査では「AEDの使用法」はなくなり、ア人工呼吸、イ心臓マッサージ、ウ止血法、エ骨折の固定、オ熱中症の対処の5項目となっている。

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	10	32	15	6	37
2. できない(習ったことあるが)	46	29	39	41	22
3. 知らない(習ったことない)	7	2	9	16	4
無回答	0	0	0	0	0

第2回(1月)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	12	29	17	10	34
2. できない(習ったことあるが)	37	25	33	33	22
3. 知らない(習ったことない)	10	7	9	15	4
無回答	4	2	4	5	3

第3回(2～3月)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	12	25	17	7	41
2. できない(習ったことあるが)	40	31	31	40	16
3. 知らない(習ったことない)	11	7	15	16	6
無回答	0	0	0	0	0

第4回(5月)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	12	25	17	7	37
2. できない(習ったことあるが)	43	34	35	41	21
3. 知らない(習ったことない)	6	2	9	13	3
無回答	2	2	2	2	2

第5回(6月)

安全意識等データの推移－B校、1年生の場合－

Q6(2回目以降Q1相当)．あなたの意見に最も近いものを選んで下さい。迷わず感じたままに答えて下さい。

第1回調査(2022年6月3日)

質 問 6										
	Q1. けがをした 場合その原 因が自分の とった行動 にある。	Q2. けがをする 時は注意し ても避けら れない。	Q3. 自分の工夫や 努力によって けがを避け る。	Q4. けがをした 場合自分自 身より環境 のせいだ。	Q5. 運が悪い からけがを する。	Q6. 自分なら大 きなけがを することは ない。	Q7. けがの危険が あってもスリ ルのあるスポ ーツをしたい。	Q8. 自分が他人 をけがさせる ことはない。	Q9. スポーツで けがをする のは当たり 前だ。	Q10. 自分はいつ も安全に行 動している。
1. そう思う	26	3	28	1	3	3	15	5	7	7
2. ややそう思う	8	14	7	8	5	8	13	6	15	22
3. ややそう思わない	1	12	1	12	12	7	3	17	8	6
4. そう思わない	1	7	0	15	16	18	5	8	6	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	23	11	27	3	2	2	19	3	10	12
2. ややそう思う	12	8	8	6	11	3	10	6	18	20
3. ややそう思わない	0	13	0	16	15	14	3	14	4	3
4. そう思わない	0	3	0	10	7	16	3	12	3	0
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第2回(6月11日)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	20	2	25	0	1	2	15	3	8	4
2. ややそう思う	15	14	8	8	12	6	13	3	18	25
3. ややそう思わない	0	16	1	16	15	11	6	13	8	5
4. そう思わない	0	3	1	11	7	16	1	16	1	1
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第3回(8月19日)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	25	1	24	1	1	5	18	3	10	10
2. ややそう思う	11	14	11	4	10	5	10	6	20	23
3. ややそう思わない	0	18	1	19	10	13	7	14	5	3
4. そう思わない	0	3	0	12	15	13	1	13	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第4回(9月16日)

質 問 1										
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.	Q9.	Q10.
1. そう思う	25	2	24	1	1	5	18	1	14	17
2. ややそう思う	11	15	10	6	10	6	10	9	17	16
3. ややそう思わない	0	15	2	17	12	12	6	15	4	3
4. そう思わない	0	4	0	12	13	13	2	11	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第5回(10月25日)

Q7(Q2). あなた自身にとって重要であるかどうか、当てはまるものを選んでください。

質 問 7						
	Q1. 勉強で良い成績を収める。	Q2. スポーツで良い成績を収める。	Q3. 自分の行動に責任を持つ。	Q4. 学校の規則を守る。	Q5. 社会の規則を守る。	Q6. 健康で安全な生活を送る。
1. 重要だ	31	34	34	36	36	35
2. やや重要だ	5	2	2	0	0	1
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第1回(6月3日)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	33	33	34	34	34	34
2. やや重要だ	2	2	1	1	1	1
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1

第2回(6月11日)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	29	31	35	34	34	34
2. やや重要だ	6	4	0	1	1	1
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1

第3回(8月19日)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	33	35	35	34	35	35
2. やや重要だ	3	1	1	2	1	1
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第4回(9月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 重要だ	36	36	36	35	35	36
2. やや重要だ	0	0	0	1	1	0
3. やや重要ではない	0	0	0	0	0	0
4. 重要ではない	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第5回(10月)

Q8(Q3). 部活動などスポーツに関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 8								
	Q1. スポーツ によって 起こるけ がに関 心があ る。	Q2. スポーツ によって 起こるけ がにつ いて自 分で調 べたこ とがあ る。	Q3. スポーツ する時 けがの 防止に ついて 仲間で 話し合 うこと があ る。	Q4. スポーツ で自分 がけが したり 痛みを 感じたら 先生や コーチ にすぐ 伝え る。	Q5. けがを しない ようス ポーツ 用具を 注意し て使 う。	Q6. より安 全なス ポーツ 用具を 選ぶ。	Q7. スポーツ する時 けがを しない よう他 人に注 意する ことが あ る。	Q8. スポーツ する時 自信を 持って 安全に 行動し てい る。
1. 当てはまる	19	25	17	20	31	21	30	10
2. やや当てはまる	13	9	16	11	5	13	6	9
3. やや当てはまらない	3	2	3	5	0	1	0	13
4. 当てはまらない	1	0	0	0	0	1	0	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

第1回(6月3日)

質 問 2								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	20	17	8	15	28	20	26	20
2. やや当てはまる	13	9	14	17	4	13	8	13
3. やや当てはまらない	2	7	11	2	2	1	1	1
4. 当てはまらない	0	2	2	1	1	1	0	1
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1

第2回(6月11日)

質 問 2								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	12	16	5	19	24	18	18	11
2. やや当てはまる	20	14	14	11	10	12	14	23
3. やや当てはまらない	3	3	10	4	0	3	3	1
4. 当てはまらない	0	2	6	1	1	2	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1

第3回(8月)

質 問 2								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	18	20	8	19	30	20	27	19
2. やや当てはまる	15	12	17	14	5	14	7	13
3. やや当てはまらない	3	4	7	3	0	2	2	4
4. 当てはまらない	0	0	4	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

第4回(9月)

質 問 2								
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.	Q7.	Q8.
1. 当てはまる	18	20	7	17	31	22	30	24
2. やや当てはまる	17	12	17	17	4	12	4	8
3. やや当てはまらない	1	4	9	2	1	1	2	3
4. 当てはまらない	0	0	3	0	0	1	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

第5回(10月)

Q9(Q4). スポーツ以外の日常生活に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 9						
	Q1. 日頃からけがをしないよう注意している。	Q2. 家電製品を使う時使用説明書をよく読む。	Q3. 幼児やお年寄りがけがしないよう気を付けている。	Q4. 日用品を買う時安全かどうか注意して選ぶ。	Q5. 危ない場所に近づかない。	Q6. 人から危険なことをするよう誘われても断る。
1. 当てはまる	27	14	28	22	26	30
2. やや当てはまる	7	15	8	9	9	5
3. やや当てはまらない	2	5	0	4	3	1
4. 当てはまらない	0	2	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第1回(6月3日)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	25	17	28	29	29	31
2. やや当てはまる	10	14	6	5	6	4
3. やや当てはまらない	0	4	1	1	0	0
4. 当てはまらない	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1

第2回(6月11日)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	25	14	25	17	24	31
2. やや当てはまる	10	10	10	18	8	2
3. やや当てはまらない	0	11	0	0	3	1
4. 当てはまらない	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	1	1	1

第3回(8月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	30	20	33	24	29	31
2. やや当てはまる	5	12	3	10	6	4
3. やや当てはまらない	1	3	0	2	1	1
4. 当てはまらない	0	1	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第4回(9月)

質 問 2						
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.	Q5.	Q6.
1. 当てはまる	32	22	34	30	30	32
2. やや当てはまる	4	11	2	5	6	4
3. やや当てはまらない	0	2	0	1	0	0
4. 当てはまらない	0	1	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0

第5回(10月)

Q10(Q5)－1～4. 交通安全に関する質問です。当てはまるものを選んでください。

質 問 10				
	Q1. 自動車に同乗する時シートベルトをつけるか。	Q2. 暗くなって自転車に乗る時ライトをつけるか。	Q3. 自転車の二人乗りをするか。	Q4. 歩行時や自転車運転時に信号無視して道路を横断するなど、交通法規を無視することがあるか。
1. いつもつける(しない)	23	34	34	34
2. ときどきつける(する)	10	1	2	2
3. つけない(よくする)	3	1	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第1回(6月3日)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	25	33	33	33
2. ときどきつける(する)	8	2	1	2
3. つけない(よくする)	2	0	1	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	1	1	1	1

第2回(6月11日)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	26	35	35	34
2. ときどきつける(する)	8	0	0	1
3. つけない(よくする)	1	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	1	1	1	1

第3回(8月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	27	36	36	33
2. ときどきつける(する)	8	0	0	3
3. つけない(よくする)	1	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第4回(9月)

質 問 5				
	Q1.	Q2.	Q3.	Q4.
1. いつもつける(しない)	28	36	36	35
2. ときどきつける(する)	7	0	0	1
3. つけない(よくする)	1	0	0	0
4. 自転車に乗らない(Q2とQ3のみ)		0	0	
無回答	0	0	0	0

第5回(10月)

Q10(Q5)－5. 以下の応急手当について、自分でできる方法がありますか。

質 問 10						
	ア. 人工呼吸	イ. 胸骨圧迫 (心臓マッ サージ)	ウ. AEDの 使用法	エ. 止血法	オ. 骨折の固 定	カ. 熱中症の 対処
1. できる	8	15	9	12	11	27
2. できない(習ったことあるが)	17	13	18	15	15	4
3. 知らない(習ったことない)	11	8	9	9	10	5
無回答	0	0	0	0	0	0

第1回(6月3日)

注)2回目以降の調査では「AEDの使用法」は無くなり、ア人工呼吸、イ心臓マッサージ、ウ止血法、エ骨折の固定、オ熱中症の対処の5項目となっている。

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	10	16	11	11	21
2. できない(習ったことあるが)	19	14	15	14	8
3. 知らない(習ったことない)	6	5	9	10	5
無回答	1	1	1	1	2

第2回(6月11日)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	7	15	10	9	26
2. できない(習ったことあるが)	18	14	15	15	5
3. 知らない(習ったことない)	10	6	10	11	4
無回答	1	1	1	1	1

第3回(8月)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	8	15	14	11	26
2. できない(習ったことあるが)	18	15	12	16	5
3. 知らない(習ったことない)	10	6	10	9	5
無回答	0	0	0	0	0

第4回(9月)

質 問 5					
	ア.	イ.	ウ.	エ.	オ.
1. できる	12	18	15	10	33
2. できない(習ったことあるが)	17	15	12	18	2
3. 知らない(習ったことない)	7	3	9	8	1
無回答	0	0	0	0	0

第5回(10月)

<参考> 今回のスポーツ安全の取組やマウスガードの使用について－A校の場合－

質 問 6				
	Q1. これまでの野球部での安全への取組は現在までの生活で自分の安全確保に役立ったと思いますか。	Q2. これまでの野球部での安全への取組はこれからの生活で自分の安全確保に役立つと思いますか。	Q3. あなたはマウスガードが野球での安全確保に役立つと思いますか。	Q4. あなたは今後も野球を続けるとしたら、有償でもマウスガードを使用したいと思いますか。
1. そう思う	54	61	53	25
2. ややそう思う	24	17	21	37
3. ややそう思わない	0	0	4	12
4. そう思わない	0	0	0	4

今回の取組で役に立ったと思う体験や感想、意見など

- ・マウスガードをつけることにより歯への安心感が生まれた。また歯の削れの予防にもなると思った。歯に対して興味を持つようになった(マウスガードのおかげで)。
- ・力がかかる時に歯への負担が減ったような気がします。時々しかつけることが無くて吐き気に悩まされた。
- ・守備時など、マウスガードをつけることによって歯が壊れる不安などが少し減った。
- ・歯の安全を守るという点からは少しかけ離れてしまいましたが、マウスガードを着用して練習やプレーを行ったところ体に力が入りやすくパフォーマンス向上に少しでもつながったと感じました。歯を食いしばる時はつけていない時よりも力が入りました。歯が痛くなる不安もなくなりました。
- ・このような機会がなければマウスガードを使用することはなかったと思う。けがについて考える一つのきっかけにも繋がった。
- ・口の中を守れたかどうかは分からないけど、力が入りやすくなり数値をあげることができた。
- ・力が入りやすくなり、ウエイトの数値が上がった。
- ・歯が折れる不安が減った。
- ・自分自身が経験したわけではないがボールが当たったり様々な場面で危ないシーンがある為、マウスガードがあれば安心感は増すと感じた。
- ・何もつけずにけがをした場合と、防いだ結果けがをした場合とではけがの大きさも変わると思うから。

- ・ウエイトトレーニングの際にマウスガードをつけると力が入りやすいと思った。
- ・力を入れる時、マウスガードをつけることによって歯を傷つけることがなくなる。
- ・多くのスポーツ選手が取り入れているので良いと思う。
- ・マウスガードを使用することで、ウエイトトレーニングの時など歯を食いしばる時に今まで以上の力を出し数値も上がりパフォーマンス向上にも繋がっていた。
- ・ウエイト時にマウスガードを使うことで歯への負担がなくなった。また、重い重量を上げることができた。
- ・歯を大事にするという少しの意識が出てきたこと。
- ・マウスガードをつけることによってけがの防止になるしトレーニングなどをする際に力が入りやすくなるので、これからはつける機会をもう少し増やしていきたい。
- ・ウエイトの数値が上がった。バッティングでもフルスイングができ自身の技術向上につながった。
- ・マウスガードを付けてトレーニング打撃をした時に付けていない時より安心して歯に力を入れることができた。
- ・マウスガードのおかげで安心してトレーニングに取り組めました。ありがとうございました。
- ・マウスガードを使用することによって噛むことへの抵抗が少なくなり、付けていない時よりも力が入り様々な向上に繋がった。
- ・ウエイトトレーニングでよく歯をかみ締めるので、付けると力が伝わる感じがする。
- ・バッティングの際はよく強く歯をかむことがあるので、そこで役立っていると思う。
- ・今までよりも安全に対する意識が高まったと思うので、この取組をやって良かったと考えている。またマウスガードの使用を通じて歯の大切さを意識するようになって良かったと思う。
- ・マウスガードを使用することによって安全に出来るしけが予防にもなる。ウエイトトレーニングの重量も変わったのでパフォーマンス向上の効果もあると感じたので、これからもマウスガードを使用していきたい。
- ・マウスガードの使用によって力を入れやすくなり、自分のパフォーマンス向上につながったと思います。特にトレーニングなどの時は力が入りやすく数値にも現れているので、使用して良かったと思いました。
- ・室内でのティーバッティングに取り組んでいる時マウスガードを付けていて、口をきってしまう程度のけがで済んだことがあった。
- ・思い切って食いしばることができて、ウエイトの数値を伸ばせた。
- ・守備の時などにつけていると安心感があった。ウエイトの時につけていて歯に対する予防になっていたと思う。
- ・ウエイトトレーニングの際、しっかり歯を食いしばる時などに安全なことが確認できている。また守備の際、ボールが当たっていないか万が一の場合に備えてマウスガード着用で安全になると思う。
- ・以前まで歯や口の安全のため力を入れにくかったが、マウスガードをすることによって守られているという安心感から力を入れやすくなった。
- ・打撃練習やウエイトの際、自分の歯に対して不安な気持ちを禁じることなく取り組むことができた。
- ・トレーニングの際などに、歯を食いしばることを恐れずに力を入れることができた。
- ・マウスガードがない時に歯を食いしばろうとすると歯が痛かったが、マウスガードがあったおかげで食いしばっても痛くならなかった。なので、これからウエイトなどで食いしばりそうになったら積極的に使用したい。
- ・ウエイトの際に役に立ちました。
- ・強くかみしめる事でより強い力を出せる事をウエイトトレーニングの際に気付き、大人数の室内練習では安心感がありました。
- ・マウスガードをつけることで不安や心配することなく、プレーに集中することができてとても役に立っている。

- ・ 昨年からマウスガードを使用してみることが多くなりました。ウエイトの時に力を入れやすいと感じることが多くあった。守備の時などに使用してみて、これからの使用の仕方などに生かしていきたいと思いました。不安の要素を無くして思い切り野球をしていきたいです。
- ・ マウスガードをつけることにより、安心感が上がり常に全力で取り組めるようになった。
- ・ 力を入れたい時、歯を気にして踏ん張りきれなかった時があったけど、マウスガードをつけてから歯にも気にしないで、くいしばってパワーを出せたことがウエイトをしている時にあった。マウスガードのおかげで自分のパフォーマンスの向上、けがからの防止ができたので良かったです。
- ・ 入学当初、同じ部員の仲間が顔にボールが当たって歯が折れてしまったことがありました。しかし、あのころからマウスガードをつけていれば防げていたと思うし、自分自身も打球が顔にあたった際にマウスガードのおかげで口内のけがの予防ができました。歯につけたまま練習することに少し時間がかかってしまうかもしれないですが、これからも守備の際にどんどん活用していこうと思います。
- ・ マウスガードをつけることによって、実際は起きていないが改めて接触プレーなどがあってもある程度は安心できるなと感じた。防げるミスやけがもつけることによって防げるので今後も活用していきたい。また、時につけるのをやめてしまうことがあるので、安全第一に事を考えていきたいと思う。防げるけがでけがをしてしまったらもったいないなと思うので人生を棒に振ってしまう前に前もって準備していきたい。
- ・ マウスガードをつけている際は「安心感」があり、ウエイトなどのハードなトレーニングも全力で取り組めるようになった。しかし違和感がありトレーニングに集中できないことがある。継続的に使い慣れていきたい。
- ・ トレーニングを行う際に今までの重量よりさらに重い重量でトレーニングできるようになった。
- ・ 口元にボールが当たった際、出血だけですみました。
- ・ けがに対する安心ができて、思い切りプレーできるようになったので良かったです。
- ・ ウエイトをしていて、マウスガードのおかげでMAXの数値が上がったので役に立ちました。野球をしていて自分自身顔にボールが当たってしまって、鼻を骨折した経験があり、身近な危険を感じているので、マウスガードを使用することによって安心が生まれ、思い切ってプレーすることにもつながり、予防ができるのでこれからも使用していきたいなと思いました。
- ・ マウスガードをしているとパフォーマンスも上がるし、メリットも多いと思うから、これからも使用したいと思いました。同時に、けがを予防することができるため、もっと有効に使えるようになりたいと思いました。
- ・ ウエイトや打撃練習の際に思いきり力を入れることへの抵抗がなくなった。
- ・ 安全への意識がより高まり、けがに対する注意が高まってきた。
- ・ トレーニングの時に付けてやってみたのですが、付けていない時より重い重量を上げることができた。
- ・ ウエイトで重いものを持つ際に思い切って歯をかみしめられるので、そこは凄く良かったです。
- ・ ウエイトの際にマウスガードがある事でもっとかみしめても良いと思えるようになって力が入るようになった。
- ・ マウスガードをつけていない時と比べて、とても力が入るようになったと思う。
- ・ マウスガードの使用によってシンプルな安全確認に加えて、パフォーマンスupにも少し近づいた。特にウエイトトレーニングでの数値upにはとても役立った。
- ・ バッティングの際、噛む力が強くなったことから、さらにパフォーマンスの向上につながったと思った。
- ・ ウエイトの際、力を入れやすくなった。特に踏ん張る際やMAXを超える時など付けていて力が入りやすいと感じた。これからも着用してウエイトに入っていきたい。

(3) 保護者へのアンケート調査結果

各校の保護者の方々に対し、今回の取組に対する理解や安全確保への意識、マウスガード使用に関するアンケート調査を実施した。その結果、計198名から回答および感想、意見を得ることができた。

A校、保護者(n=57)

質問事項	はい	いいえ	未回答		
Q1 この取り組みを知っていたか	37	19	1		
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	
Q2 取り組みは必要か	50	7	0	0	
Q3 取り組みは大切か	52	5	0	0	
	よくある	時々ある	たまにある	全くない	
Q4 けが防止について話し合うか	4	15	19	19	
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	分らない
Q5 子供の安全に役立ったか	29	22	1	0	5
Q6 子供の将来の安全確保に役立つか	35	17	0	0	5
Q7 マウスガードが野球での安全確保に役立つか	45	11	0	0	1
Q8 有償でも使用させますか	29	25	0	0	3
Q9 野球部での取組やマウスガードの使用等に関する自由意見(下記に表示)					
	母親	父親	その他		
Q10 アンケート回答者(子供との関係)	32	25	0		

Q9 自由記述まとめ

- 歯や目は治らない事もあるので、今回の取り組みは良いと思います。
- 金額面の負担も考えて、マウスガードの無償化は進めて欲しい。
- 実際に中学生の頃、顔面骨折をしました。その際、安全確保についてすぐ考えさせられました。今回のマウスガード導入についてもそういった経験からありがたいと感じております。
- 親用にパンフレット等があれば欲しい。マウスガードのメンテナンス方法等の説明等も知りたい。
- 大変素晴らしいことだと思いますし、けがの予防になるのはどんどん取り入れていただきたいです。
- 外傷防止にあった方が良いと思うが、使用効果の統計的なものがわかりにくく、価格も安くはないため、もう少し情報があると良い。
- お金の負担を考えながら進めて欲しい。

B校、保護者(n=63)

質問事項	はい	いいえ			
Q1 この取り組みを知っていたか	42	21			
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	
Q2 取り組みは必要か	58	5	0	0	
Q3 取り組みは大切か	58	5	0	0	
	よくある	時々ある	たまにある	全くない	
Q4 けが防止について話し合うか	3	20	21	19	
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	分らない
Q5 子供の安全に役立ったか	48	10	1	0	4
Q6 子供の将来の安全確保に役立つか	58	5	0	0	0
Q7 マウスガードが野球での安全確保に役立つか	50	10	2	0	1
Q8 有償でも使用させますか	21	38	0	2	2
Q9 野球部での取組やマウスガードの使用等に関する自由意見(下記に表示)					
	母親	父親	その他		
Q10 アンケート回答者(子供との関係)	32	31	0		

Q9 自由記述まとめ

- 選手一同が安全に野球ができるようにサポートしていただければありがたいです。
- 安全管理の徹底を引き続きお願いします。
- 専門家の方々からの外傷防止についての直接指導をしていただき、有難く思います。
- 積極的に安全への取り組みをしていただけるのは有難い。
- 引き続き安全管理とマウスガード以外にも試してもらいたい。
- 選手の健康にかかわることなので、一人ひとりがきちんと安全意識が定着するように指導をお願いしたい。
- マウスガード以外にも今後の安全教育をお願いいたします。
- 定期的にマウスガードのメンテナンス等の指導も受けられればと思います。
- マウスガードやヘルメットのフェイスガードなどご配慮感謝いたします。
- 歯を守るという意味で、素晴らしい取り組みだと思います。
- 今後も可能な限り続けていただけたらと思います。
- 中学時代も野球の時に着けていたので、安全教育の徹底をお願いします。
- 子供が寮生活で詳しく話を聞いていなかったのですが、安全教育への取り組みには賛成です。
- マウスガードを使用することによってどのような効果があるのか、保護者にも教えてほしいです。
- 研究指定校として取り組まれている事から指導者の考え方が伝わってきます。

D校、保護者(n=78)

質問事項	はい	いいえ			
Q1 この取り組みを知っていたか	56	22			
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	
Q2 取り組みは必要か	70	8	0	0	
Q3 取り組みは大切か	70	7	1	0	
	よくある	時々ある	たまにある	全くない	
Q4 けが防止について話し合うか	8	33	34	3	
	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	分らない
Q5 子供の安全に役立ったか	44	22	0	0	12
Q6 子供の将来の安全確保に役立つか	51	20	1	0	6
Q7 マウスガードが野球での安全確保に役立つか	57	18	0	1	2
Q8 有償でも使用させますか	34	35	1	4	4
Q9 野球部での取組やマウスガードの使用等に関する自由意見(下記に表示)					
	母親	父親	その他		
Q10 アンケート回答者(子供との関係)	67	11	0		

Q9 自由記述まとめ

- 1 マウスガードを使用する事はいいと思います。歯は大事です。
- 2 マウスガードの色は無色が好ましい。
- 3 有意義だと感じているため、積極的に取り組んでいただきたい。
- 4 歯の保護のためには大切です。
- 5 けがを少しでも少なくし、野球に集中できるから良いと思う。
- 6 マウスガード使用後の手入れ法などを周知すると思う。
- 7 けがすることなく、野球を続けられることを考えていただける環境に感謝してます。

(4) その他の調査結果

マウスガード等に関するアンケート調査結果

～第104回選手権大会出場校 アンケートのまとめ～

公益財団法人日本高等学校野球連盟事務局長 小倉 好正

第104回全国高等学校野球選手権大会は、49代表校の参加で、8月6日から(休養日3日間を含み)22日までの日程で阪神甲子園球場にて開催された。

そのうち代表校40校から協力をいただき、「歯・口・あご外傷事故及び応急措置」、「歯の保存液」、「マウスガード」、「学校歯科医」に関するアンケートを実施した。

なお、本アンケートは、日本学校歯科医会安全教育調査研究委員会及び大阪歯科大学スポーツ歯科臨床研究班のご協力により、日本高等学校野球連盟が本年8月に実施した。

◇歯・口、あごの外傷について、お聞きします。

Q1 > 「最近1年間に、試合や練習中の事故で、歯や口、あごをけがした選手はいますか？」

「はい」 11校(1回が9校、2回が1校、3回が1校)

「いいえ」 29校

Q2 > 「どのような状況で、事故が発生したのか、お教えてください。」

「守備・練習」7回 「走塁・試合」2回 「守備・試合」1回

「投球・試合」1回

※守備時ではボールがイレギュラーバウンドとなり口に当たった(4校)。

Q3 > 「どのようなけがだったか、教えてください。(複数回答可)」

「唇や舌を切った」6件 「歯の一部が欠けた」3件

「歯がグラグラ状態になった」2件 「あごの骨が折れた」2件

「歯が折れた」1件 「あごを打撲した」1件 「歯が脱臼して抜けた」1件

◇過去、歯の脱臼事故を経験した方にお聞きします。ない場合は、Q 5に進んでください。

Q 4-a>「過去の事故(負傷)が起こったとき、どのように対応しましたか?(複数回答可)」

「歯科に行った」12校 「医科に行った」1校

Q 4-b>「その場合、抜けた歯はどのように応急処置をしましたか?(複数回答可)」

「牛乳につけた」3校 「そのまま保管した」3校

「歯の保存液に浸けた」2校 「水道水で洗った」2校 残りは無回答

Q 5-a>「もし練習中、試合中に選手の歯が脱臼したら、どのように対応しますか。」

「歯科に行く」37校 「医科に行く」5校

Q 5-b>「その場合、抜けた歯について、どのように対応すると思いますか?(複数回答可)」

「歯の保存液に浸ける」16校 「水道水で洗う」7校 「牛乳につける」6校

「そのまま保管する」5校

◇今回、配布させていただいた歯の保存液について、質問いたします。

Q 6>「このような保存液があるのは知っておられましたか?」

「はい」28校 「いいえ」12校

Q 7>「もしこの保存液につけて歯科に持っていくと、抜けた歯を元の場所に戻すのに有効ならば、購入してみようと考えますか?」

「はい」34校

「いいえ」6校 ※理由:保管が難しい。すぐに医療機関に行くから。有効かどうか不明である。

◇マウスガードについて、お聞きします。

Q 8>「チームで、マウスガードを使用している部員はいますか?」

「いる、一部の生徒」15校 「いる、全員」2校

「以前はいたが、今はいない」7校 「いない」16校

Q 9>「入手経路は、次のどれですか?」

「マウスガード業者の売り込み、またはオーダー」15校

「歯科医が歯型と噛み合わせを取って、カスタムタイプマウスガード」5校

「スポーツ店やネット通販で、既製品を購入」3校

「入手経路は不明」5校

Q 10>「入手方法は、次のどれですか?」

「生徒が個人的に購入」19校 「チームで購入を斡旋」4校

Q 11>「マウスガードに、効果を感じてますか?」

「はい」10校 「いいえ」2校 「わからない」16校 無回答12校

Q 12>「どういった点に効果を感じていますか?」

「歯・口のけが防止」11校 「脳震盪の予防」1校

「筋力トレーニング効果」9校 「バッティングへの効果」5校

「ピッチングへの効果」6校 無回答8校

◇学校歯科医について、お聞きします。

Q 13 > 「学校歯科医は、口腔外傷の予防、口腔外傷発生時の対処の仕方について、周知に取り組んでいます。このような学校歯科医の活動をご存じですか。」

「指導を受けたことがある」2校

「指導を受けたことがない」31校

無回答7校

Q 14 > 「部活動の口腔外傷予防には学校歯科医との連携が重要ですが、あなたの学校ではできていますか？」。

「できている」4校

「あまりできていない」30校

無回答6校

〔まとめ〕

◇歯・口、あごの外傷については、40校中11校(27.5%)で、前回の調査(31.6%)に比べ減少している。また、けがの発生内容については、練習中の守備練習時のけがが7件で最も多く、前回の調査の打撃(5件)を上回っている。負傷後の処置として、「水道水で洗う」7校、「そのまま保管する」5校であり、応急処置に関して指導者が理解できていないことがうかがえる。

◇歯の保存液については、当連盟は大阪歯科大学の協力により毎年、甲子園球場で開催される選抜大会と選手権大会の出場校に歯の保存液を配布しているため、近年の出場校の指導者は、承知しているが、初出場や前回の出場から離れている出場校では認知されていない。保存液の購入についても「いいえ」が6校(15%)あり、保存液の有効性についての周知が必要である。

◇マウスガードについては、「いる、一部の生徒」と「いる、全員」で40校中17校(38.6%)であり、前回の調査からは、マウスガードの使用校は減少している。「マウスガード装着の効果を感じている」が10校で、装着の効果が「歯・口のけが予防」であるが11校(27.5%)で、前回の調査結果の比で増加している。一方でけがの予防以外の装着の効果「筋力トレーニング効果」、「バッティングへの効果」、「ピッチングへの効果」が20校(50%)あり、マウスガードの装着が「けが防止の効果がある点」をさらに周知させる必要がある。

◇学校歯科医については、「学校歯科医から指導を受けたことがない」が31校(77.5%)、「学校歯科医との連携があまりできていない」が30校(75%)であり、前回の調査より連携ができていない学校が増加しており、部活動指導者と学校歯科医の連携が今後の課題である。

4. 成果と課題

(1) 成果

公益財団法人日本高等学校野球連盟、研究指定校地域関係加盟団体のご支援、安井利一学長、上野俊明先生、松本勝先生（以上、明海大学）、中禮宏先生（東京医科歯科大学）、吉川一志先生（大阪歯科大学）並びに各大学の医局員の方々の御指導、研究指定校である花巻東高等学校、浦和学院高等学校、大阪桐蔭高等学校、新田高等学校の皆様の意欲的な取組により、コロナ禍の影響が払拭されない困難の中、計画した内容がほぼ実施され、以下のような成果を挙げることができた。

- ① 指定校数を2校から4校にし、地域も埼玉から全国に広げたことにより、マウスガードの活用推進に関する啓発をより全国的な視野で進めることができた。研究指定校においては、前期の成果を活かし、使用の手順や方法により、教育を重視したマウスガードの作製・使用に基づく調査を継続して実践するとともに、スポーツ紙等において全国的な啓発ができた。
- ② マウスガード使用に関する調査結果等から、顧問、指導者の働きかけによって、着用の割合等が変わってくることから、指導者の声かけや指導を強調することが影響することが分かった。そのため、生徒の主体性に任せるだけでは習慣化ができず、安全教育の繰り返しや声掛け、ルールの明確化などが重要であることが明らかになった。
- ③ 取組の中で、生徒が、自他の安全や練習環境の安全確保に気をつけるようになるなど野球のみならず、安全意識の向上と行動の改善が見られた。
- ④ 委員会メンバーによる検討を経て、スポーツにおける安全確保の重要性とマウスガード活用の有効性、教育の必要性を啓発するための資料が作成でき、教育や啓発のための資源が強化された。
- ⑤ 生徒に対し、安全な環境づくりやマウスガードを含む多様な用具の活用が事故防止に有効であることを啓発でき、研究指定校において練習場所の安全確保や点検、マウスガード等の使用、主体的な安全環境づくりなどが強化されてきている。

(2) 課題

前期のスポーツ外傷防止教育普及委員会を含めた6か年間の取組により、マウスガード使用のための手順や方法、生徒の理解や意識の向上等について上記の成果を上げたものの、今後作成した資料を活用し、より広く全国の各地域や学校等でこれまでに得られた成果をどのように普及するか、それに学校歯科医がどう関わるかなどの課題も浮かび上がってきている。

公益財団法人日本高等学校野球連盟等との連携により、ようやく安全教育充実のための具体的な方法が明らかになり、全国的な展開に踏み出したところである。今後は、継続して委員会の活動を展開し、資料なども活用しながら、広く全国の各地域や学校等でこれまでに得られた成果をどのように普及するかという課題を持ちながら各学校や地域に応じた実践的な方法について調査研究を進める必要があることで委員間の意見が一致している。

具体的な課題としては、以下の5点を挙げる。

- ① 研究指定校において、普段の練習時及び試合でのマウスガードの積極的な活用、衛生管理の方法や生徒の安全意識向上と使用継続のため、どのように指導を行っていくか、継続して実践的な検討が必要である。
- ② 全国の各地域・学校等で運動部活動などの集団でのマウスガード作製・使用の多様な形態の実施方法について、問題点の洗い出しやシステムの構築策などを多面的に検討する必要がある。
- ③ スポーツ指導者や保護者の理解や関心を高める取組が十分でなく、保護者に対する野球の安全やマウスガードの必要性に関する教育や啓発の機会を積極的に設ける必要がある。
- ④ 日本高等学校野球連盟と連携し、継続してマウスガードの利用状況や指導者や保護者の意識調査などを行ない、実態を明らかにするとともに、野球をはじめとするスポーツ活動での安全、マウスガードの有効性や使用の意義などをより広く啓発する必要がある。
- ⑤ 急速に拡大しつつある高等学校女子野球部員の安全教育やマウスガード活用のための調査研究実施について検討を進める必要がある。

あ と が き

学校安全教育調査研究委員会は、平成29年に前身となるスポーツ外傷防止教育普及委員会が設けられてから今年で6年間が経過した。過去6年間の成果のもと、令和3年・4年度においても日本学校歯科医会の全面的なご支援のもと、スポーツ歯科専門医や研究指定校の4校の熱心な取組により、成果と課題が明らかになった。4校の成果としては、マウスガードの有効性の部員・保護者・指導者の理解の深耕、当該校の指導者、養護教諭、学校歯科医との連携の強化、過去のけがや事故の状況を振り返ることによる再発防止の検討、日常的な防護ネットや野球用具の点検・修理、他部との情報共有、などである。一方、課題としては、マウスガードを装着しない理由として、手入れ時の手間、装着時の違和感、指導者がけが・事故防止、安全意識の重要性を十分に部員に伝えきれていない、マウスガード購入価格の不安などであった。引き続きマウスガードは、歯・口のけが防止を目的とした理解が進むよう啓発を継続しなければならない。

また、日本高等学校野球連盟が第104回全国高等学校選手権大会出場校へ実施したアンケートでは、「学校歯科医から口腔外傷の予防、口腔外傷発生時の対処について、指導を受けたことがある」と答えたのは、40校中2校であった。これに関しては、今回編集された別冊「学校歯科医・歯科医のための参考資料・スポーツ歯科と安全教育」を活用され、養護教諭との連携のもと各校への指導をお願いしたい。また「歯の保存液があるのを知らない」が12校、「抜けた歯の対応で、水道水で洗う。そのままに保管」が12校あり、残念な結果であった。日本高等学校野球連盟としては、本調査研究委員会の取組を新任理事長研修会、指導者研修会や都道府県連盟理事長・専務理事会議等において本報告書に基づき、周知を図り、各都道府県連盟においては当該加盟校への伝達を、各加盟校では指導者、養護教諭、学校歯科医との連携がさらに深まることを願っている。

ところで、日本高校野球連盟は、新型コロナウイルス感染防止対策とともに、この4年間で、「選手の障害・けが予防」とも真摯に向き合ってきた。2019年、「投手の障害予防に関する有識者会議」を開催した。2020年、「投手の投球数を1週間500球以内に制限する」を3年間の試行期間として導入し、投球数の管理と複数投手の育成を図り、公式戦での3連戦回避をルール化した。第92回選抜大会、第102回選手権大会は、残念ながら中止となった。2021年、第93回選抜大会、第103回選手権大会は、観客の入場を制限して再開し、2022年には継続試合を導入した。またU18ベースボールワールドカップが3年ぶりに米国で開催され、7イニング制へ変更となった。打者の歯牙障害予防に関しては、「あごガード付きヘルメット」の着用が認められた。2023年、タイブレイク制度10回からの導入に変更し、栄養講座を新設した。2024年、新基準バットへ完全移行などを予定している。口腔外傷予防を含め選手の障害・けが予防対策は、継続が必須である。

最後に、本調査研究に関わっていただいた研究指定校の4校、日本学校歯科医会をはじめ、関係機関・関係団体に感謝申し上げますとともに、引き続きご支援・ご指導をお願いし、結びとします。

2023(令和5)年3月31日

学校安全教育調査研究委員会
副委員長 小倉 好正

死亡・重障害事故の傾向（平成14年度～令和3年度）

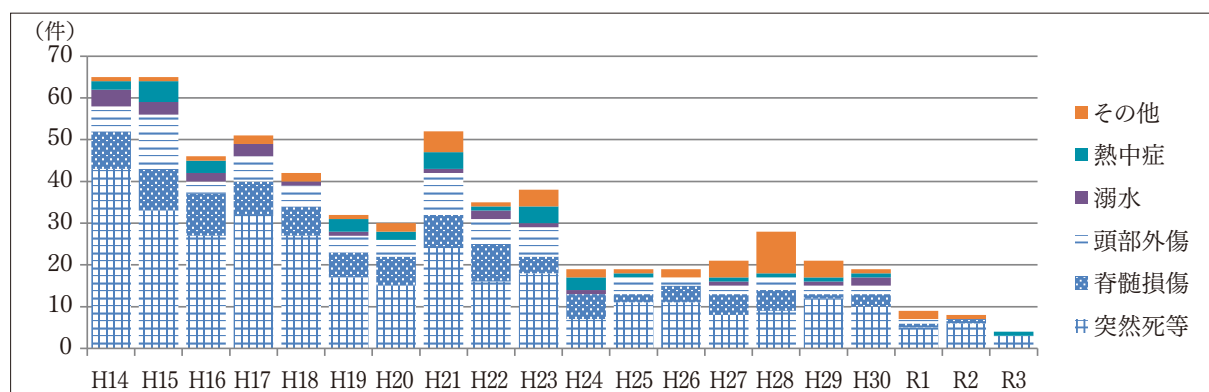
学校の管理下で20年間（平成14年度～令和3年度）に発生した体育活動中（体育の授業、運動部活動、体育的行事等）における事故で、災害共済給付の死亡見舞金、障害見舞金のうち第1級～第3級を給付した事例623例（死亡444例、障害179例）を分析した。

なお、死亡見舞金は死亡した日の翌日から2年間、障害見舞金は治癒又は症状固定日の翌月10日から2年間請求することが可能であり、災害発生から死亡、治癒又は症状固定まで一定期間を要する事例もあることから、近年の事例については、既に災害が発生していても請求されていないものがあり、分析対象の件数は少なくなっている。

(1) 傷病別・年度別

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	総計
突然死等	43	33	27	32	27	17	15	24	16	18	7	11	11	8	9	12	10	5	6	3	334
脊髄損傷	9	10	10	8	7	6	7	8	9	4	6	2	4	5	5	1	3	1	1	0	106
頭部外傷	6	13	3	6	5	4	4	10	6	7	0	4	2	2	3	2	2	1	0	0	80
溺水	4	3	2	3	1	1	0	1	2	1	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	23
熱中症	2	5	3	0	0	3	2	4	1	4	3	1	0	1	1	1	1	0	0	1	33
その他	1	1	1	2	2	1	2	5	1	4	2	1	2	4	10	4	1	2	1	0	47
合計	65	65	46	51	42	32	30	52	35	38	19	19	19	21	28	21	19	9	8	4	623

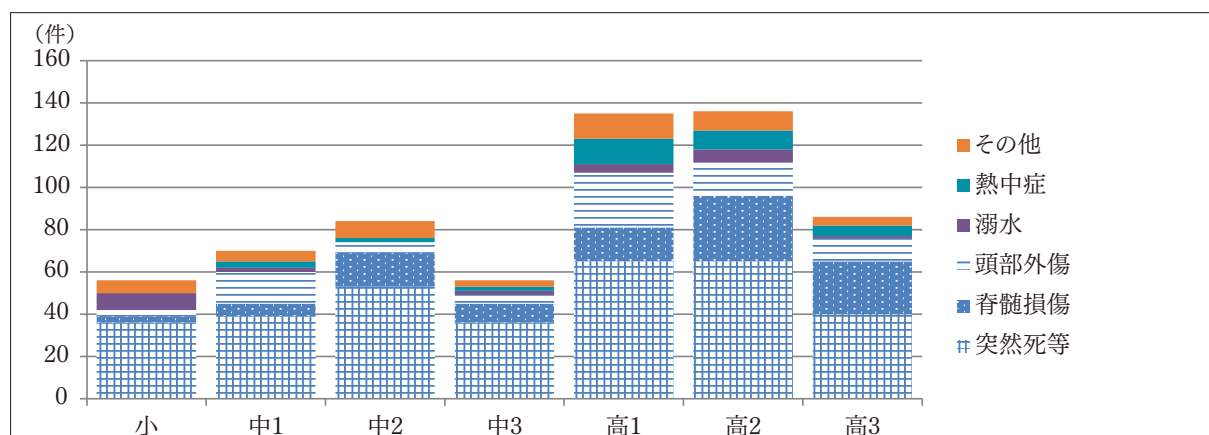
※「その他」は「窒息（溺水以外）」「全身打撲」等



(2) 傷病別・学年別

	小	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
突然死等	36	39	53	36	65	65	40	334
脊髄損傷	3	6	16	9	16	31	25	106
頭部外傷	3	15	5	4	26	16	11	80
溺水	8	2	0	2	4	6	1	23
熱中症	0	3	2	2	12	9	5	33
その他	6	5	8	3	12	9	4	47
合計	56	70	84	56	135	136	86	623

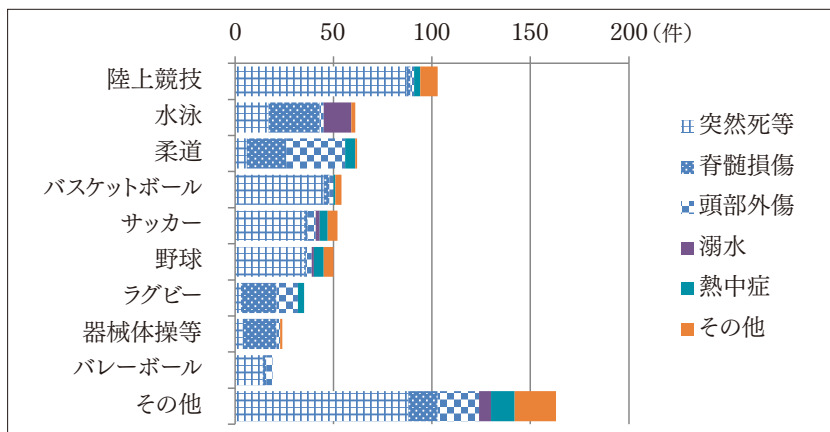
※「小」は小学校1年生から小学校6年生まで



(3) 競技別・傷病別

	突然死等	脊髄損傷	頭部外傷	溺水	熱中症	その他	合計
陸上競技	87	2	2	0	3	9	103
水泳	17	26	2	14	0	2	61
柔道	6	20	30	0	5	1	62
バスケットボール	45	3	2	0	1	3	54
サッカー	35	2	4	2	4	5	52
野球	35	1	3	1	5	5	50
ラグビー	3	18	11	0	3	0	35
器械体操等	4	17	2	0	0	1	24
バレーボール	14	2	3	0	0	0	19
その他	88	15	21	6	12	21	163
合計	334	106	80	23	33	47	623

※競技の「その他」は、「ソフトボール」「テニス」「レスリング」「相撲」「ボクシング」等



(4) 傷病別・原因別

	走る等	投げられる・打たれる等	泳ぐ	他者と接触	プールへの飛び込み	技が不完全	転倒・転落	ボール等接触	施設・設備等と衝突	その他	合計
突然死等	278	0	19	0	0	0	0	3	0	34	334
脊髄損傷	1	17	0	20	29	22	9	0	1	7	106
頭部外傷	0	39	0	17	1	0	8	5	5	5	80
溺水	0	0	17	0	0	0	2	0	0	4	23
熱中症	32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	33
その他	10	1	2	1	0	2	4	2	2	23	47
合計	321	57	38	38	30	24	23	10	8	74	623

※原因の「その他」は、「準備運動中に倒れる」「休憩中に倒れる」等

(5) 競技別・原因別

	走る等	投げられる・打たれる等	泳ぐ	他者と接触	プールへの飛び込み	技が不完全	転倒・転落	ボール等接触	施設・設備等と衝突	その他	合計
陸上競技	94	0	0	2	0	2	0	0	0	5	103
水泳	0	0	31	0	27	0	1	0	0	2	61
柔道	10	45	0	0	0	5	1	0	0	1	62
バスケットボール	43	0	0	1	1	0	3	0	1	5	54
サッカー	33	0	1	2	0	0	2	1	3	10	52
野球	32	0	1	1	0	0	1	6	0	9	50
ラグビー	6	0	0	27	0	0	1	0	1	0	35
器械体操等	2	0	0	0	0	15	3	0	0	4	24
バレーボール	13	0	0	0	1	0	1	1	0	3	19
その他	88	12	5	5	1	2	10	2	3	35	163
合計	321	57	38	38	30	24	23	10	8	74	623

(6) 発生場所別・傷病別

	突然死等	脊髄損傷	頭部外傷	溺水	熱中症	その他	合計
運動場	162	24	28	0	14	19	247
屋内運動場	102	42	41	0	11	9	205
プール	18	29	2	13	0	2	64
道路	38	2	2	0	4	2	48
学校外その他	7	7	4	10	3	11	42
学校内その他	7	2	3	0	1	4	17
合計	334	106	80	23	33	47	623

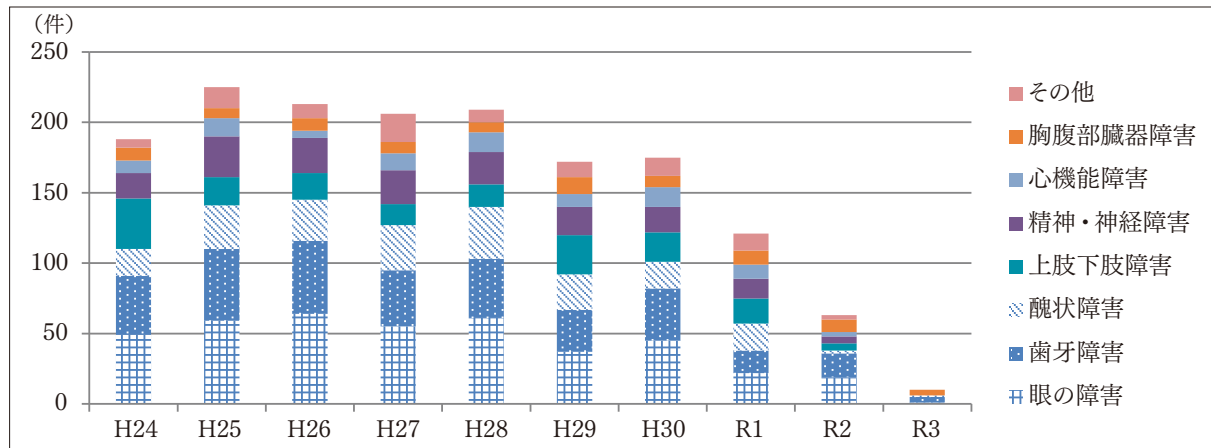
※「学校外その他」は「競技場」等。「学校内その他」は「教室」等。

障害事故の傾向（平成24年度～令和3年度）

学校の管理下で10年間（平成24年度～令和3年度）に発生した体育活動中（体育の授業、運動部活動、体育的行事等）における事故で、災害共済給付の障害見舞金（第1級～第14級）を給付した事例1,582例を分析した。

なお、障害見舞金は治癒又は症状固定日の翌月10日から2年間請求することが可能であり、災害発生から治癒又は症状固定まで一定期間を要する事例もあることから、近年の事例については、既に災害が発生していても請求されていないものがあり、分析対象の件数は少なくなっている。

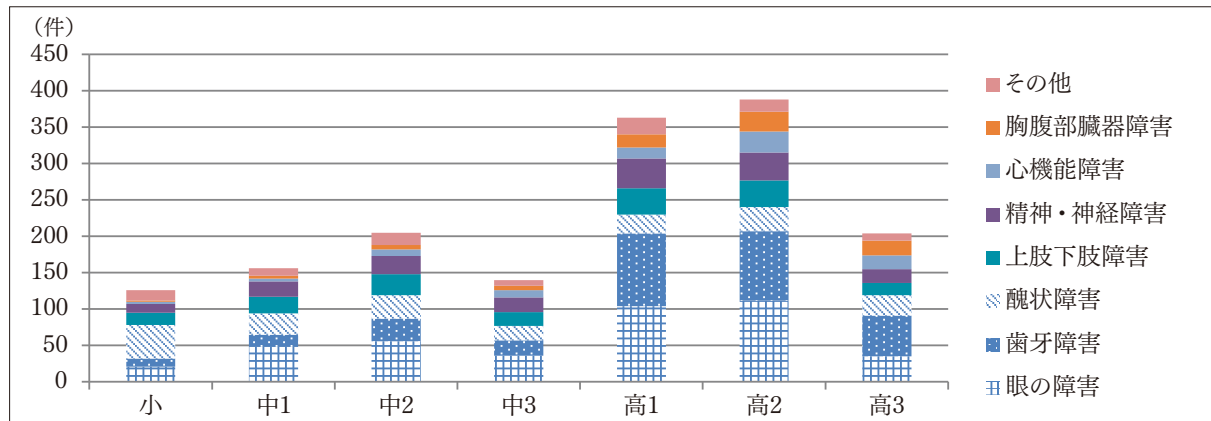
（1）障害別・年度別推移



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
眼の障害	49	59	64	55	61	37	45	22	19	1	412
歯牙障害	42	51	52	40	42	30	37	16	17	4	331
醜状障害	19	31	29	32	37	25	19	19	2	1	214
上肢下肢障害	36	20	19	15	16	28	21	18	5	0	178
精神・神経障害	18	29	25	24	23	20	18	14	5	0	176
心機能障害	9	13	5	12	14	9	14	10	3	0	89
胸腹部臓器障害	9	7	9	8	7	12	8	10	9	4	83
その他	6	15	10	20	9	11	13	12	3	0	99
合計	188	225	213	206	209	172	175	121	63	10	1,582

※「その他」は「せき柱障害」「聴力障害」等

（2）障害別・学年別



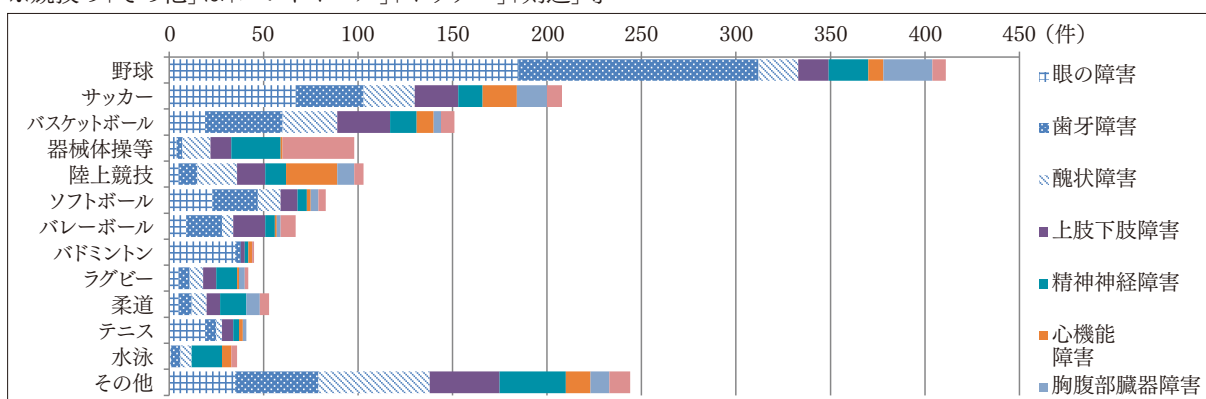
	小	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
眼の障害	21	48	56	36	104	112	35	412
歯牙障害	11	17	31	21	100	95	56	331
醜状障害	46	29	32	20	26	33	28	214
上肢下肢障害	17	23	29	19	36	37	17	178
精神・神経障害	12	21	25	20	41	38	19	176
心機能障害	3	4	9	10	15	29	19	89
胸腹部臓器障害	2	4	6	6	18	27	20	83
その他	14	10	17	8	23	17	10	99
合計	126	156	205	140	363	388	204	1,582

※「小」は小学校1年生から小学校6年生まで

(3) 競技別・傷病別

	眼の障害	歯牙障害	醜状障害	上肢下肢障害	精神神経障害	心機能障害	胸腹部臓器障害	その他	合計
野球	185	127	21	16	21	8	26	7	411
サッカー	67	36	27	23	13	18	16	8	208
バスケットボール	19	41	29	28	14	9	4	7	151
器械体操等	4	3	15	11	26	1	0	38	98
陸上競技	5	10	21	15	11	27	9	5	103
ソフトボール	23	24	12	9	5	2	4	4	83
バレーボール	9	19	6	17	5	1	2	8	67
バドミントン	35	3	0	2	2	2	0	1	45
ラグビー	5	6	7	7	11	1	3	2	42
柔道	5	7	8	7	14	0	7	5	53
テニス	19	6	3	6	3	2	2	0	41
水泳	1	5	6	0	16	5	0	3	36
その他	35	44	59	37	35	13	10	11	244
合計	412	331	214	178	176	89	83	99	1,582

※競技の「その他」は「ハンドボール」「ホッケー」「剣道」等



(4) 障害別・原因別

	ボール等当たる	他者と接触	転倒・落下	走る・跳ぶ等	バット等当たる	施設・設備と接触	投げられる・打たれる等	回転に失敗	プール飛び込み	自分の膝等が接触	泳ぐ	その他	合計
眼の障害	311	49	10	0	21	7	3	1	0	3	0	7	412
歯牙障害	113	82	47	5	46	29	2	0	0	2	0	5	331
醜状障害	17	56	53	11	20	30	8	4	0	1	2	12	214
上肢下肢障害	45	30	49	13	2	22	4	1	0	0	0	12	178
精神・神経障害	24	34	29	17	2	8	10	9	15	2	1	25	176
心機能障害	1	1	1	68	0	0	1	0	0	0	5	12	89
胸腹部臓器障害	31	25	0	6	1	2	7	0	0	0	0	11	83
その他	18	14	30	2	2	0	5	16	3	0	0	9	99
合計	560	291	219	122	94	98	40	31	18	8	8	93	1,582

※原因の「その他」は、「練習中に倒れる」「負担がかかり痛みがひどくなる」等

(5) 競技別・原因別

	ボール等当たる	他者と接触	転倒・落下	走る・跳ぶ等	バット等当たる	施設・設備と接触	投げられる・打たれる等	回転に失敗	プール飛び込み	自分の膝等が接触	泳ぐ	その他	合計
野球	332	17	10	11	21	13	0	0	0	0	0	7	411
サッカー	76	70	25	18	0	13	0	0	0	0	0	6	208
バスケットボール	27	69	14	9	1	18	1	0	0	0	0	12	151
器械体操等	0	6	50	2	0	4	0	26	0	4	0	6	98
陸上競技	3	4	24	50	5	3	0	0	0	2	0	12	103
ソフトボール	37	7	0	3	32	2	0	0	0	0	0	2	83
バレーボール	18	12	11	3	1	16	0	0	0	0	0	6	67
バドミントン	28	0	5	2	8	0	0	0	0	0	0	2	45
ラグビー	2	35	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	42
柔道	0	13	2	0	1	1	33	0	0	0	0	3	53
テニス	15	1	5	3	5	8	0	0	0	0	0	4	41
水泳	0	1	8	1	0	0	0	0	18	0	8	0	36
その他	22	56	64	19	19	20	6	5	0	2	0	31	244
合計	560	291	219	122	94	98	40	31	18	8	8	93	1,582

(6) 運動部活動 競技別・障害別(体育活動1,583例のうち中高運動部活動の上位15位1,129例)

			眼の 障害	歯牙 障害	上肢 下肢 障害	精神・ 神経 障害	醜状 障害	胸腹部 臓器 障害	心機能 障害	その他	総計	対10万人 当たりの発 生順位
1	野球	件数	206	142	18	27	22	26	8	8	457	2
	約358万人	対10万人	5.7	4.0	0.5	0.8	0.6	0.7	0.2	0.2	12.7	
2	サッカー	件数	58	31	21	10	17	19	11	7	174	6
	約393万人	対10万人	1.5	0.8	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.2	4.4	
3	バスケットボール	件数	17	35	20	7	22	3	7	7	118	8
	約454万人	対10万人	0.4	0.8	0.4	0.2	0.5	0.1	0.2	0.2	2.6	
4	バレーボール	件数	7	17	13	4	8	2	1	9	61	9
	約306万人	対10万人	0.2	0.6	0.4	0.1	0.3	0.1	0.0	0.3	2.0	
5	テニス	件数	20	6	7	4	4	2	2	0	45	14
	約544万人	対10万人	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	
6	ラグビー	0	6	5	8	12	7	3	1	2	44	1
	約28万人	対10万人	2.1	1.7	2.8	4.2	2.4	1.0	0.3	0.7	15.3	
7	柔道	件数	5	5	5	14	5	5	0	4	43	4
	約51万人	対10万人	1.0	1.0	1.0	2.7	1.0	1.0	0.0	0.8	8.4	
8	陸上	件数	1	5	6	5	9	5	6	1	38	12
	約326万人	対10万人	0.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.0	1.2	
9	バドミントン	件数	29	2	1	3	1	1	1	1	39	11
	約246万人	対10万人	1.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	
10	ソフトボール	件数	14	5	6	4	2	0	0	2	33	5
	約68万人	対10万人	2.0	0.7	0.9	0.6	0.3	0.0	0.0	0.3	4.8	
11	ハンドボール	件数	2	3	3	4	4	3	2	0	21	7
	約72万人	対10万人	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.0	2.9	
12	水泳	件数	0	1	0	10	2	0	0	3	16	10
	約80万人	対10万人	0.0	0.1	0.0	1.2	0.2	0.0	0.0	0.4	2.0	
13	器械体操等	件数	0	2	0	5	2	0	0	6	15	3
	約17万人	対10万人	0.0	1.1	0.0	2.8	1.1	0.0	0.0	3.4	8.4	
14	卓球	件数	2	1	4	2	4	1	0	0	14	15
	約317万人	対10万人	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	
15	剣道	件数	3	1	1	3	0	0	2	1	11	13
	約128万人	対10万人	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	0.9	

※対10万人＝H24～R3の各障害件数÷H24～R3の各競技の部員数×10万人

※部員数については、日本中学体育連盟加盟校調査集計(加盟生徒数)・全国高等学校体育連盟加盟登録状況・日本高等学校野球連盟部員数総計より算出

付 録 2

歯・口の外傷防止に関する教育、相談等の協力可能な団体

(公益社団法人日本学校歯科医会 加盟団体)

団 体 名	〒	所 在 地	(上段) TEL (下段) FAX
一般社団法人 北海道歯科医師会	060-0031	札幌市中央区北1条東9-11	011-231-0945 011-271-7514
一般社団法人 札幌歯科医師会	064-0807	札幌市中央区南7条西10-1034	011-511-1543 011-511-1530
一般社団法人 青森県歯科医師会	030-0811	青森市青柳1-3-11	017-777-4870 017-722-4603
一般社団法人 岩手県歯科医師会	020-0045	盛岡市盛岡駅西通2-5-25	019-621-8020 019-654-5474
一般社団法人 秋田県歯科医師会	010-0941	秋田市川尻町字大川反170-102	018-865-8020 018-862-9122
一般社団法人 宮城県歯科医師会	980-0803	仙台市青葉区国分町1-5-1	022-222-5960 022-225-4843
一般社団法人 山形県歯科医師会	990-0031	山形市十日町2-4-35	023-632-8020 023-631-7477
公益社団法人 福島県歯科医師会	960-8105	福島市仲間町6-6	024-523-3266 024-524-1323
公益社団法人 茨城県歯科医師会	310-0911	水戸市見和2-292-1	029-252-2561 029-253-1075
一般社団法人 栃木県歯科医師会	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-5	028-648-0471 028-648-8149
群馬県学校歯科医会	371-0847	前橋市大友町1-5-17	027-252-0391 027-253-6407
一般社団法人 千葉県歯科医師会	261-0002	千葉市美浜区新港32-17	043-241-6471 043-248-2977
一般社団法人 埼玉県歯科医師会	330-0075	さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ5F	048-829-2323 048-829-2376
公益社団法人 東京都学校歯科医会	102-0073	千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館2F	03-3261-1675 03-3222-6528
公益社団法人 神奈川県歯科医師会	231-0013	横浜市中区住吉町6-68	045-681-2172 045-681-2426
公益社団法人 川崎市歯科医師会	210-0006	川崎市川崎区砂子2-10-10	044-233-4494 044-222-3924
一般社団法人 山梨県歯科医師会	400-0015	甲府市大手1-4-1	055-252-6481 055-253-0854

団 体 名	〒	所 在 地	(上段) TEL (下段) FAX
一般社団法人 長野県歯科医師会	380-8583	長野市稲葉2141	026-222-8020 026-222-3060
一般社団法人 新潟県歯科医師会	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-8-13	025-283-3030 025-283-6692
一般社団法人 静岡県歯科医師会	422-8006	静岡市駿河区曲金3-3-10	054-283-2591 054-283-3590
一般社団法人 愛知県歯科医師会	460-0002	名古屋市中区丸の内3-5-18	052-962-8020 052-951-5108
名古屋市学校歯科医会	460-8508	名古屋市中区三の丸3-1-1 名古屋市教育委員会学校保健課内	052-972-3246 052-972-4177
公益社団法人 岐阜県歯科医師会	500-8486	岐阜市加納城南通1-18	058-274-6116 058-276-1722
公益社団法人 三重県歯科医師会	514-0003	津市桜橋2-120-2	059-227-6488 059-227-0510
一般社団法人 石川県歯科医師会	920-0806	金沢市神宮寺3-20-5	076-251-1010 076-251-6450
一般社団法人 福井県歯科医師会	910-0001	福井市大願寺3-4-1	0776-21-5511 0776-27-5640
一般社団法人 富山県歯科医師会	930-0887	富山市五福字五味原2741-2	076-432-4466 076-442-4013
一般社団法人 滋賀県歯科医師会	520-0044	大津市京町4-3-28	077-523-2787 077-523-2788
和歌山県学校歯科医会	640-8287	和歌山市築港1-4-7 和歌山県歯科医師会館内	073-428-3411 073-431-2660
一般社団法人 奈良県歯科医師会	630-8002	奈良市二条町2-9-2	0742-33-0861 0742-34-1279
一般社団法人 京都府歯科医師会	604-8418	京都市中京区西/京東栞尾町1	075-812-8492 075-812-8814
一般社団法人 大阪府学校歯科医会	543-0033	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-9-2 辻本興産ビル4階 分室	06-6772-5277 06-6772-5252
一般社団法人 大阪市学校歯科医会	543-0033	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 府歯科医師会館内	06-6772-8362 06-6774-0488
一般社団法人 兵庫県歯科医師会	650-0003	神戸市中央区山本通5-7-18	078-351-4183 078-351-4333
公益社団法人 神戸市歯科医師会	650-0021	神戸市中央区三宮町2-11-1-514号 センタープラザ西館5階	078-391-8020 078-391-6480
一般社団法人 岡山県歯科医師会	700-0813	岡山市北区石関町1-5	086-224-1255 086-224-8561

団 体 名	〒	所 在 地	(上段) TEL (下段) FAX
一般社団法人 鳥取県歯科医師会	680-0841	鳥取市吉方温泉3-751-5	0857-23-2621 0857-23-5584
一般社団法人 広島県歯科医師会	732-0057	広島市東区二葉の里3-2-4	082-263-8020 082-263-5525
一般社団法人 島根県歯科医師会	690-0884	松江市南田町141-9	0852-24-2725 0852-31-0198
公益社団法人 山口県歯科医師会	753-0814	山口市吉敷下東1-4-1	083-928-8020 083-928-8025
一般社団法人 徳島県歯科医師会	770-0003	徳島市北田宮1-8-65	088-631-3977 088-631-4179
公益社団法人 香川県歯科医師会	760-0020	高松市錦町2-8-38	087-851-4965 087-822-4948
一般社団法人 愛媛県歯科医師会	790-0014	松山市柳井町2-6-2	089-933-4371 089-932-5048
一般社団法人 高知県歯科医師会	780-0850	高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター2F	088-824-3400 088-872-8011
一般社団法人 福岡県学校歯科医会	810-0041	福岡市中央区大名1-12-43	092-714-4627 092-714-7599
福岡市学校歯科医会	810-0041	福岡市中央区大名1-12-43	092-781-6321 092-781-6512
佐賀県学校歯科医会	840-0045	佐賀市西田代2-5-24	0952-25-2291 0952-22-7586
一般社団法人 長崎県歯科医師会	852-8104	長崎市茂里町3-19	095-848-5311 095-846-0175
一般社団法人 大分県歯科医師会	870-0819	大分市王子新町6-1	097-545-3151 097-545-3155
一般社団法人 熊本県歯科医師会	860-0863	熊本市中央区坪井2-4-15	096-343-8020 096-343-0623
一般社団法人 宮崎県歯科医師会	880-0021	宮崎市清水1-12-2	0985-29-0055 0985-22-6551
公益社団法人 鹿児島県歯科医師会	892-0841	鹿児島市照国町13-15	099-226-5291 099-223-6079
一般社団法人 沖縄県歯科医師会	901-1105	島尻郡南風原町字新川218-1	098-996-3561 098-996-3562

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会認定医

以下に掲載の名簿は、令和4年12月現在の日本スポーツ歯科医学会の認定医の一覧です。その他の認定資格として、スポーツデンタルハイジニスト(歯科衛生士)やマウスガードテクニカルインストラクター(歯科医師・歯科技工士)もあります。いずれの名簿も、学会ホームページに逐次更新されますので、右記のQRコードから最新名簿を検索ください。

なお、これらは学会の資格であり、前記の各都道府県歯科医師会等でも研修会等を行って適切なマウスガードを作成できる先生がおられるので、歯科医師会にお問い合わせください。



<認定医>

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
山口敏樹	002-8028	北海道札幌市北区篠路 8条6丁目13-18	山口歯科医院	011-774-6480
平井敏博	002-8072	北海道札幌市北区あいの里 2条5丁目	北海道医療大学	011-778-7575
谷内田渉	002-8081	北海道札幌市北区百合が原 9丁目14番2号	やちだ歯科クリニック	011-299-5838
森修二	003-0862	北海道札幌市白石区川下 2条4丁目	森歯科医院	011-874-6481
神野由貴	004-0051	北海道札幌市厚別区厚別中央1条 6丁目3-1 ホクノー新札幌ビル3F	医療法人社団札幌歯科口腔外科 クリニック	011-801-1400
諸岡亮	047-0046	北海道小樽市赤岩 1-9-28	赤岩りょう歯科クリニック	0134-23-8020
金子知生	060-8648	北海道札幌市北区北14条 西5丁目	北海道大学病院高次口腔医療 センター	011-716-1161
赤平亘彌	061-1423	北海道恵庭市柏木町531	北恵庭駐屯地 医務室歯科	0123-32-2101
白石典史	061-3213	北海道石狩市花川北3条3丁目9 -2コープさっぽろいしかり店2F	コープ歯科クリニック	0133-72-1182
松田昌紀	079-8419	北海道旭川市永山9条5丁目 2-1	松田歯科クリニック	0166-49-5573
望月岳志	048-1531	北海道虻田郡ニセコ町有 島8-136	ニセコ歯科	0136-43-2225
額賀康之	040-0053	北海道函館市末広町4-25	額賀歯科医院	0138-22-1667
額賀英之	040-0053	北海道函館市末広町4-25	額賀歯科医院	0138-22-1667
鈴木俊一	020-0104	岩手県盛岡市小鳥沢 1-34-17	小鳥沢歯科クリニック	019-664-1600
小林琢三	020-0024	岩手県盛岡市菜園2丁目7-33 東カンジュネラス菜園・公園通2F	小林歯科医院	019-654-1088
雨宮悟志	983-8580	宮城県仙台市宮城野区南目館 1-1	自衛隊仙台病院診療科	022-231-1111
佐藤武司	981-1101	宮城県仙台市太白区四郎丸 渡道13-1	四郎丸・サトウ歯科	022-242-6471

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
齋藤裕太	994-0068	山形県天童市高嶺南 2295-2	さいとう 歯科医院	023-655-7997
片野勝司	379-1409	群馬県利根郡みなかみ町 湯宿温泉512-3	片野歯科医院	0278-64-0413
深谷聖	311-4152	茨城県水戸市河和田 2-14-11	フカヤ歯科クリニック	029-257-8811
近藤圭祐	321-0941	栃木県宇都宮市東今泉 2-5-31	新宇都宮リハビリテーション病院 歯科	028-666-4880
増田一生	337-0051	埼玉県さいたま市見沼区 東大宮5-35-18	医療法人 誠歯会 マスダ歯科	048-686-0088
小林成人	336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 1-12-13	なると 歯科	048-678-7610
三島攻	336-0926	埼玉県さいたま市緑区東浦和 5-10-2センターシティ東浦和	医療法人 賢歯会 こばやし 歯科	048-873-6874
渡辺和志	347-0103	埼玉県加須市牛重448-1	渡辺歯科医院	0480-73-5880
片山直	350-0283	埼玉県坂戸市けやき台 1-1	明海大学歯学部	049-285-5511
安井利一	350-0283	埼玉県坂戸市けやき台 1-1	明海大学歯学部社会健康科学講座 口腔衛生学分野	049-279-2786
松本勝	350-0283	埼玉県坂戸市けやき台 1-1	明海大学歯学部社会健康科学講座 スポーツ歯学分野	049-279-2786
上野俊明	350-0283	埼玉県坂戸市けやき台 1-1	明海大学病院 口腔保健科・ スポーツ歯科外来	049-279-2810
黒川勝英	359-1124	埼玉県所沢市東住吉5-11	黒川歯科医院	
片山幸太郎	359-1141	埼玉県所沢市小手指町 5-7-18	医療法人社団 新仁会小手指 デンタルクリニック	04-2968-8241
糸賀裕	359-1141	埼玉県所沢市小手指町 5-7-18	医療法人社団 新仁会小手指 デンタルクリニック	04-2968-8241
村井宏隆	350-0808	埼玉県川越市吉田新町 2-17-1	フリージア 歯科	049-234-1447
日野峻輔	350-8550	埼玉県川越市鴨田1981	埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科	049-228-3687
中村悟士	350-8550	埼玉県川越市鴨田1981	埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科	049-228-3687
石上恵一	261-8502	千葉県千葉市美浜区真砂 1-2-2	東京歯科大学スポーツ歯学研究室	043-270-3608
川良美佐雄	271-8587	千葉県松戸市栄町西 2-870-1	日本大学松戸歯学部顎口腔機能 治療学講座	047-360-9614
若見昌信	271-8587	千葉県松戸市栄町西 2-870-1	日本大学松戸歯学部クラウン ブリッジ補綴学講座	047-360-9435
鈴木浩司	271-8587	千葉県松戸市栄町西 2-870-1	日本大学松戸歯学部クラウン ブリッジ補綴学講座	047-360-9642
浅野隆	271-8587	千葉県松戸市栄町西 2-870-1	日本大学松戸歯学部クラウン ブリッジ補綴学講座	047-360-9641
勝谷七穂	271-8587	千葉県松戸市栄町西 2-870-1	日本大学松戸歯学部口腔健康科学 講座顎口腔機能治療学分野	047-360-9641

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
武田友孝	101-0061	東京都千代田区神田三崎町 2-9-18	東京歯科大学口腔健康科学講座 スポーツ歯学研究室	03-6380-9177
中島一憲	101-0061	東京都千代田区神田三崎町 2-9-18	東京歯科大学歯学部口腔健康科学 講座 スポーツ歯学研究室	03-6380-9177
澁澤真美	101-0061	東京都千代田区神田三崎町 2-9-18	東京歯科大学口腔健康科学講座 スポーツ歯学研究室	03-6380-9177
山崎豪	101-0061	東京都千代田区神田三崎町 2-9-18	東京歯科大学スポーツ歯学研究室	03-6380-9177
西野仁泰	101-0061	東京都千代田区神田三崎町 2-9-18	東京歯科大学水道橋病院健康・ スポーツ歯科	03-6380-9177
月村直樹	101-8310	東京都千代田区神田駿河台 1-8-13	日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ 講座	03-3219-8144
眞田淳太郎	101-8310	東京都千代田区神田駿河台 1-8-13	日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ 講座	03-3219-8144
藤野祥子	107-0052	東京都港区赤坂9-5-26 パレ乃木坂202	乃木坂歯科クリニック	03-3404-9838
山中拓人	108-0073	東京都港区三田2-7-12 徳文堂ビル1階	山中歯科医院	03-6381-7778
鈴木義弘	110-0015	東京都台東区東上野 3-35-1鈴木ビル2F	医療法人社団 眞慈会鈴木歯科	03-3832-1388
田邊元	113-8549	東京都文京区湯島 1-5-45	東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科スポーツ医歯学分野	03-5803-5867
中禮宏	113-8549	東京都文京区湯島 1-5-45	東京医科歯科大学病院スポーツ 歯科外来	03-5803-5867
林海里	113-8549	東京都文京区湯島 1-5-45	東京医科歯科大学咬合機能健康 科学分野	03-5803-5867
隅田陽介	113-8549	東京都文京区湯島 1-5-45	東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科 スポーツ医歯学分野	03-5803-5867
本田雅彦	116-0013	東京都荒川区西日暮里 1-3-6	西日暮里歯科	03-3891-1804
中村陽介	134-0084	東京都江戸川区東葛西 6-2-7新店ビル3F	医療法人社団 慶生会慶生会 クリニック歯科	03-3688-6181
森文彦	145-0071	東京都大田区田園調布 2-50-1ヤマナカヤビル202	森歯科医院	03-3722-0388
芳賀秀郷	145-8515	東京都大田区北千束 2-1-1	昭和大学歯科病院矯正歯科	03-3787-1151
関根陽平	145-0062	東京都大田区北千束 3-25-13-2F	みはる矯正・歯科医院	03-3728-3825
石川慎士	154-0001	東京都世田谷区池尻 1-2-24	自衛隊中央病院	03-3411-0151
齋藤整	160-0004	東京都新宿区四谷2-14 四谷小林ビル2F	せいデンタルクリニック	03-3225-0881
磯山永次郎	160-0022	東京都新宿区新宿2-6-5 山本ビル2F	磯山歯科	03-3354-6420
好士理恵子	168-0082	東京都杉並区久我山 4-47-20	久我山あおぞら歯科医院	03-3331-7762
栗原嘉代子	179-0073	東京都練馬区田柄2-49-8 エトアール赤塚2F	エトアール歯科クリニック	03-5967-4182

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
藤巻弘太郎	183-0033	東京都府中市分梅町 1-33-20-2F	ぶばいオハナ歯科	042-407-4402
石橋浩造	187-0035	東京都小平市小川西町 4-15-8第3アークビル103	いしばし歯科医院	042-348-3811
松田祐明	190-0004	東京都立川市柏町 4-15-1オークビル3階	原歯科医院	042-536-0875
本吉美保	194-0022	東京都町田市森野 1-13-14日本生命ビル2F	本吉歯科	042-729-1351
高橋敏幸	194-0036	東京都町田市木曽東 3-20-17	澤田歯科医院	042-791-2655
品川隆			東京大学医学部口腔顎顔面外科・ 矯正歯科	
木本一成	238-8580	神奈川県横須賀市稲岡町 82	神奈川県歯科大学歯学部社会歯科 科学系健康科学講座口腔保健学分野	046-822-8862
杉山義祥	239-0802	神奈川県横須賀市馬堀町 2-2-31	医療法人社団祥豊会 杉山歯科 医院	046-844-3223
植木公一	230-0001	神奈川県横浜市鶴見区矢向 5-3-23コイズミビル	ピーキッズ歯科	045-580-7718
柴田えり子	243-0027	神奈川県厚木市愛甲東 1-1-34	大澤歯科医院	046-228-1078
柴田豊	243-0027	神奈川県厚木市愛甲東 1-1-34	大澤歯科医院	046-228-1078
竹村直美	252-0027	神奈川県座間市座間 1-3207-8	尾崎歯科医院	046-251-1420
嶋村政博	242-0014	神奈川県大和市上和田979-1 シルバーコーポ桜ヶ丘2F	シマムラ歯科	046-267-2256
安部圭祐	251-0051	神奈川県藤沢市白旗 1-1-1コミー湘南1F	ラフランス歯科クリニック	0466-81-2050
渥美陽二郎	951-8580	新潟県新潟市中央区浜浦町 1-8	日本歯科大学新潟病院訪問歯科 口腔ケア科	025-267-1500
高橋睦	951-8580	新潟県新潟市中央区浜浦町 1-8	日本歯科大学新潟生命歯学部 生理学講座	025-267-1500
宇野清博			日本歯科大学新潟病院総合診療科	
坂東陽月	920-0922	石川県金沢市横山町8-47	ばんどう歯科医院	076-234-3777
坂野正仁	915-0016	福井県越前市岩内町 2-1-2	ひの歯科クリニック	0778-25-6480
鷹股哲也	399-0781	長野県塩尻市広丘郷原 1780	松本歯科大学総合診断科	0263-52-3100
田村康夫	501-0296	岐阜県瑞穂市穂積1851	朝日大学歯学部口腔構造機能発育 学講座 小児歯科学分野	058-329-1454
都尾元宣	501-0296	岐阜県瑞穂市穂積1851	朝日大学歯学部口腔機能修復学 講座 歯科補綴学分野	058-329-1109
山内六男	501-0296	岐阜県瑞穂市穂積1851	朝日大学	058-329-1488
渡邊一弘	501-0296	岐阜県瑞穂市穂積1851	朝日大学歯学部口腔病態医療学 講座 口腔外科学分野	058-329-1472

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
飯沼光生	501-0296	岐阜県瑞穂市穂積1851-1	朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野	058-329-1424
林良宣	441-8055	愛知県豊橋市柱九番町31-1	林歯科医院	0532-48-1048
林万紀子	441-8055	愛知県豊橋市柱九番町31-1	林歯科医院	0532-48-1048
亀井俊雄	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内3-6-5	亀井歯科	052-961-6001
根来武史	460-0008	愛知県名古屋市中区栄2-4-3TF広小路本町ビル6F	TF栄矯正歯科クリニック	052-219-8588
平岡道郎	464-0032	愛知県名古屋市千種区猫洞通3-2-5OKハイツ1F	平岡歯科医院	052-762-8211
村上弘	464-8651	愛知県名古屋市中区千種区末盛通2-11	愛知学院大学歯学部高齢者・在宅歯科医療学講座 口腔インプラント科	052-759-2154
安藤貴則	491-0011	愛知県一宮市柚木風490	おろし歯科医院	0586-77-1411
下里武巳	515-0332	三重県多気郡明和町馬之上1181-1	しもさと歯科クリニック	0596-64-8212
今井裕一郎	607-8062	京都府京都市山科区音羽珍事町2	洛和会 音羽病院 口腔外科	075-593-4111
木下智雄	610-1106	京都府京都市西京区大枝沓掛町9-9	きのした歯科医院	075-333-6296
竹内正敏	612-8136	京都府京都市伏見区向島四ツ谷池14-19 向島ニュータウン6-1棟	タケウチ歯科診療所	075-611-2681
石橋淳	615-8005	京都府京都市西京区桂上野南町89	いしばし歯科クリニック	075-381-1484
上田順宏	634-8522	奈良県橿原市四条町840	奈良県立医科大学附属病院口腔外科学講座	0744-22-3051
福辻智	639-1160	奈良県大和郡山市北郡山町63-1	ふくつじ歯科医院	0743-52-8850
石田純一	639-0214	奈良県北葛城郡上牧町上牧4244	服部記念病院 歯科口腔外科	0745-77-1333
岩上好伸	646-0021	和歌山県田辺市あけぼの44-17	岩上歯科医院	0739-25-2418
洪里周作	530-0041	大阪府大阪市北区天神橋6-5-13	こうり歯科クリニック	06-6314-6564
山崎敏彦	535-0021	大阪府大阪市旭区清水3-21-19	山崎歯科	06-6951-7044
池永英彰	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-17	大阪歯科大学口腔治療学講座	06-6910-1053
木下智	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-17	大阪歯科大学口腔外科学第1講座	06-6910-1076
吉川一志	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-17	大阪歯科大学歯科保存学講座	06-6910-1524
岡崎全宏	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-17	大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座	06-6943-6521
谷本啓彰	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-17	大阪歯科大学附属病院歯科保存学講座	06-6910-1085

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
田中佑人	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1丁目5-17	大阪歯科大学附属病院障がい者歯科	06-6910-1091
前田芳信	541-0053	大阪府大阪市中央区本町3-6-4本町ガーデンシティ4F	医療法人 サラヤ健育会オーラルケアステーション本町歯科	06-7711-1418
田中誠也	542-0086	大阪府大阪市中央区西心斎橋1-10-4エースビル3階A号室	医療法人 栄功会田中歯科医院	06-6241-6455
今井敦子	546-0042	大阪府大阪市東住吉区西今川4-7-6	いまい歯科	06-6790-4455
吉松昌之	553-0006	大阪府大阪市福島区吉野3-3-16	吉松歯科医院	06-6464-4618
宮永裕彰	561-0851	大阪府豊中市服部元町2-4-20Reflet服部元町1F	みやなが歯科こども歯科	06-6866-8230
木田正芳	561-0844	大阪府豊中市利倉西2-13-1	木田歯科クリニック	06-6863-2215
権田知也	565-0871	大阪府吹田市山田丘1-8	大阪大学大学院歯学研究科有床義歯補綴学高齢者学分野	06-6879-2955
門田秀隆	569-1145	大阪府高槻市富田丘町3-12佐竹ビル2F	門田歯科クリニック	072-695-8148
楠本哲次	573-1144	大阪府枚方市牧野本町1-4-4	大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科	072-856-9961
増田将也	577-0823	大阪府東大阪市金岡1-20-24	増田歯科医院	06-6721-3721
小西康三	595-0021	大阪府泉大津市東豊中町1-8-7	小西デンタルクリニック	0725-43-8055
竹内摂	596-0042	大阪府岸和田市加守町1-4-24	竹内デンタルオフィス	072-423-4300
松田成俊	652-0042	兵庫県神戸市兵庫区東山町4-19-1	(医) 社団 青志会まつだ歯科医院	078-521-0418
平田憲雄	655-0049	兵庫県神戸市垂水区狩口台1-16-2ビエラ明舞2F	平田歯科	078-782-9999
吉野仙峰	655-0051	兵庫県神戸市垂水区舞多間西6-1-1舞多間100年の森メディカルモール2F	よしの歯科	078-787-3918
鈴田明彦	657-0059	兵庫県神戸市灘区篠原南町3-7-13	鈴田歯科クリニック	078-801-7376
尾上祐悦	659-0086	兵庫県芦屋市三条南町13-16-401	尾上歯科クリニック	0797-38-9640
梶間孝樹	671-2572	兵庫県宍粟市山崎町庄能341	梶間歯科医院	0790-62-5051
佐藤亮	680-0843	鳥取市南吉方1丁目63-1農協共済福祉事業団第2ビル1F	さとう歯科クリニック	0857-21-0606
生熊義正	729-5121	広島県庄原市東城町川東1429-1	生熊歯科	08477-2-3283
山田庸二	730-0042	広島県広島市中区国泰寺町1-3-12	山田歯科医院	082-244-5955
吉田結梨子	734-8551	広島県広島市南区霞1-2-3	広島大学病院障害者歯科	082-257-5555
岡田芳幸	734-8553	広島県広島市南区霞1-2-3	広島大学病院障害者歯科	082-257-5788

会員名	郵便番号	勤務先住所	勤務先	勤務先電話番号
西野宏	738-0013	広島県廿日市市廿日市 1-8-18	西野歯科医院	0829-31-5800
武部裕光	762-0031	香川県坂出市文京町 1-2-1	医療法人社団 武部歯科医院	0877-46-1800
佐々木幸生	781-4212	高知県香美市香北町美良布 1081-1	佐々木歯科診療所	0887-59-2127
淵上雅登	814-0121	福岡県福岡市城南区神松寺 2-17-4-1F	SATA歯科クリニック	092-874-8680
住吉周平	814-0005	福岡県福岡市早良区祖原 16-8	スミヨシ歯科口腔外科こども歯科	092-851-4178
沖田直紀	810-0042	福岡県福岡市中央区赤坂 2-3-13KM原田ビル3F	大熊歯科医院	092-736-5040
花岡一誠	810-0022	福岡県福岡市中央区薬院 3-7-19	花岡歯科医院	092-521-0173
松村英尚	815-0073	福岡県福岡市南区大池 1-26-27	松村歯科医院	092-511-3243
上田敏雄	848-0023	佐賀県伊万里市大坪町丙 2110	上田歯科医院	0955-23-8185
小川伸造	850-0975	長崎県長崎市三和町541	おがわ歯科医院	095-878-0039
神田亨	851-0116	長崎県長崎市東町1914	かんだ歯科	095-830-2030
河野克明	861-4115	熊本県熊本市南区川尻 6-7-10	河野歯科医院	096-357-9256
近藤剛史	870-0029	大分県大分市高砂町1-5 大川産婦人科・小児科 高砂ビル7F	タカサゴデンタルオフィス	097-594-5004
濱田種夫	901-0192	沖縄県那覇市字鏡水679	陸上自衛隊那覇駐屯地医務室	070-5468-6599
嘉手納一彦	902-0076	沖縄県那覇市与儀 1-3-21	那覇市健康部保健所 健康増進課	098-853-7961

C けがの部位

1. 前額部 2. 眼窩 3. 頬部 4. 耳部 5. 鼻部 6. 口部 7. 歯部
8. 顎部 9. (1～8以外の)頭部 10. 体幹部(頸部・肩部・胸部・腹部・臀部・腰部・臀部・臀部を含む。) 11. 上肢部(腕・手) 12. 下肢部(脚・足)

D けがの種類

1. 骨折 2. 捻挫 3. 脱臼 4. 挫傷・打撲 5. 挫創
6. 切り傷(切創、剝創、裂創) 7. 擦過傷 8. 熱傷・火傷 9. 歯牙破折 10. その他
質問4 歯の防具「マウスガード(マウスピース)」を使用したことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、使用したことがある場合、その種類を選んで○を付けてください。
1. マウスガードがどんなものか知らない
2. マウスガードを使用したことがない
3. マウスガードを使用したことがある → 種類 (市販既製品・カスタムメイド)

質問5 質問4で「使用したことがある」と答えた方に質問します。あなたは、マウスガードをどのような状況で使用しましたか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。
1. 部活動の試合で 2. 部活動の練習で 3. 体育の授業で
4. その他 ()

質問6 次のそれぞれの文について、「1. そう思う」～「4. そう思わない」の中から、あなたの意見にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。
Q1 あなたがけがをした場合、その原因は自分がとった行動にあると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q2 あなたがけがをする時は、注意しても避けられないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q3 あなたは、自分の工夫や努力によってけがを防げますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q4 あなたがけがをした場合、それは自分自身より環境のせいだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q5 あなたは、運が悪いからけがをすると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q6 あなたは、自分ならば大きなけがをすることは無いと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q7 あなたは、けがをする危険があっても、スリルのあるスポーツをしたいと思いませんか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q8 あなたは、自分が他人をけがさせることはないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q9 あなたは、スポーツでけがをするのはあたりまえだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q10 あなたは、自分がいつも安全に行動していると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

質問7 次のQ1～Q6について、あなた自身にとって重要であるかどうか、「1. 重要だ」～「4. 重要ではない」の中からひとつえらんで、番号に○をつけてください。
Q1 勉強でよい成績をとること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

安全に関する意識調査(第1回)

この調査は、皆さんが安全や危険についてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

No	年 氏名	【記入日】 令和 年 月 日	性 別
		(1 男 2 女)	

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

質問1 あなたは運動部に入っていますか。あてはまるほうの番号に○をつけてください。また、入っている場合は、()の中に種目名を書いてください。
1. 運動部に入っていない
2. 運動部に入っている → 種目名 ()

質問2 あなたが中学校に入学してから現在までの間に、けがをして病院や診療所で治療を受けたことがありますか。あてはまるほうの番号に○をつけてください。ある場合には、その受傷回数を()内に書いてください。
1. ない
2. ある → 受傷 ()回

質問3 質問2で「2. ある」と答えた方に質問します。けがのA「発生病所」、B「活動内容」、C「けがの部位」、D「けがの種類」について、表下にある各選択肢から当てはまる番号を選んで、表中に記入してください。

A 発生病所	B 活動内容	C けがの部位	D けがの種類

A 発生病所

1. 学校内(体育館等の屋内) 2. 学校内(運動場等の屋外) 3. 学校周辺(道路等)
4. 学校外の施設等 5. 通学路等 6. 自宅及び自宅周辺(公園等)
7. その他の場所

B 活動内容

1. 保健体育の授業 2. その他の授業 3. 野球部活動 4. 野球部以外の運動部活動
5. 体育的な学校行事(運動会・体育祭・クラスマッチ等) 6. 文化的な学校行事
7. 休憩時間・放課後 8. その他

- Q 2 スポーツでよい成績をとること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 3 自分のとった行動に責任をもつこと
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 4 学校の規則を守ること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 5 社会の規則を守ること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 6 健康で安全な生活をおくこと
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- 質問 8** 以下の質問は、部活動などスポーツについての質問です。それぞれの文について、
「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を
1つ選んで、番号に○をつけてください。
- Q1 私は、スポーツによって起こるけがに関心がある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q2 私は、スポーツによって起こるけがについて、よく知りたいと思う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q3 私は、スポーツをする時には、けがの防止について仲間と話し合いたいと思う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q4 私は、スポーツをしていて自分がけがをしたり、痛みを感じたら先生やコーチに
すぐにそのことを伝えようと思う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q5 私は、スポーツ用具を使う場合、けがをしないように注意して使おうと思う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q6 私は、スポーツ用具を選ぶ場合、より安全な用具を選びたい。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q7 私は、スポーツをしている時、けがをしないように他の人に注意しようと思う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q8 私は、スポーツをする時は、けがをしない自信がある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- 質問 9** 以下の質問は、スポーツ以外の日常生活についての質問です。それぞれの文について、
「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を
1つ選んで、番号に○をつけてください。
- Q1 日ごろからけがをしないように注意している。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q2 家電製品などを使うときは、使用説明書をよく読む。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q3 幼児やお年寄りけがをしないように、気をつけている。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q4 日用品を買うときは、安全かどうかに注意して選ぶ。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

- Q 5 危ない場所には近づかない。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 6 人から危険なことをするようにさせられても、ことわる。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- 質問 10** 次のそれぞれの質問に対して、あてはまる番号に○をつけてください。
Q1 あなたは、自動車に同乗するとき、シートベルトをつけますか。
1. いつもつける 2. とどきつきつける 3. つけない 4. 自転車には乗らない
- Q2 あなたは、暗くなつてから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。
1. いつもつける 2. とどきつきつける 3. つけない 4. 自転車には乗らない
- Q3 あなたは、自転車の二人乗りをしますか。
1. しない 2. とどきする 3. よくする 4. 自転車には乗らない
- Q4 あなたは、道路を歩いているときや自転車で乗っているとき、信号を無視して道路を横断する
など交通法規を無視することがありますか。
1. ない 2. とどきある 3. よくある
- Q5 あなたは次の応急手当の中で、自分ができる方法がありますか。それぞれ、あてはまる番号に
○をつけてください。
- ア. 人工呼吸 1. できる 2. できない 3. 知らない
イ. 胸骨圧迫（心臓マッサージ） 1. できる 2. できない 3. 知らない
ウ. AEDの使用法 1. できる 2. できない 3. 知らない
エ. 止血法 1. できる 2. できない 3. 知らない
オ. 骨折の固定 1. できる 2. できない 3. 知らない
カ. 熱中症の対処 1. できる 2. できない 3. 知らない
- * 「2. できない」＝習ったことはあるができないとき
* 「3. 知らない」＝習ったこともなく知らないとき

質問 11 あなたが、ふだんの生活の中で、けがや安全のことで気になることがありましたら、下に
書いてください。

以上。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

安全に関する意識調査 (第2回以降)

この調査は、皆さんが安全や危険についてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

*第1回と同じ番号を記入してください。

年 氏名		【記入日】 令和 年 月 日	
No	性別 (1 男 2 女)		

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

質問 1 次のそれぞれの文について、「1. そう思う」～「4. そう思わない」の中から、あなたの意見にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

- Q1 あなたがけがをした場合、その原因は自分とった行動にあると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q2 あなたがけがをする時は、注意しても避けられないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q3 あなたは、自分の工夫や努力によってけがを防げますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q4 あなたがけがをした場合、それは自分自身よりも環境のせいだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q5 あなたは、運が悪いからけがをすると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q6 あなたは、自分ならば大きなけがをすることは無いと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q7 あなたは、けがをする危険があっても、スリルのあるスポーツをしたいと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q8 あなたは、自分が他人をけがさせることはないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q9 あなたは、スポーツでけがをするのはあたりまえだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
Q10 あなたは、自分がいつも安全に行動していると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

質問 2 次のQ1～Q6について、あなた自身にとって重要であるかどうか、「1. 重要だ」～「4. 重要ではない」の中からひとつえらんで、番号に○をつけてください。

Q1 勉強でよい成績をとること

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
Q2 スポーツでよい成績をとること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
Q3 自分のとった行動に責任をもつこと
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
Q4 学校の規則を守ること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
Q5 社会の規則を守ること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
Q6 健康で安全な生活をおくこと
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

質問 3 以下の質問は、部活動などスポーツについての質問です。それぞれの文について、「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 スポーツによって起こるけがに関心がある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q2 スポーツによって起こるけがについて、自分で調べたことがある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q3 スポーツをする時には、けがの防止について仲間と話し合うことがある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q4 スポーツをしていて自分がけがをしたり、痛みを感じたら先生やコーチにすぐにそのことを伝える。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q5 スポーツ用具を使う場合、けがをしないように注意して使う。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q6 スポーツ用具を選ぶ場合、より安全な用具を選ぶようにしている。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q7 スポーツをしている時、けがをしないように他の人に注意することがある。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q8 スポーツをしている時、自信を持って安全に行動している。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 4 以下の質問は、スポーツ以外の日常生活についての質問です。それぞれの文について、「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 日ごろからけがをしないように注意している。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q2 家電製品などを使うときは、使用説明書をよく読む。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
Q3 幼児やお年寄りけがをしないように、気をつけている。

- Q 4 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない
日用品を買うときは、安全かどうかに注意して選ぶ。
4. あてはまる 5. ややあてはまる 6. あてはまらない
- Q 5 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない
危ない場所には近づかない。
4. あてはまる 5. ややあてはまる 6. あてはまらない
- Q 6 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない
人から危険なことをするようにそれぞれ、ことわる。
4. あてはまる 5. ややあてはまる 6. あてはまらない

質問 5 次のそれぞれの質問に対して、あてはまる番号に○をつけてください。

Q1 あなたは、自動車に同乗するとき、シートベルトをつけますか。

1. いつもつける 2. ときどきつける 3. つかない

Q2 あなたは、暗くなってから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。

1. いつもつける
2. ときどきつける
3. つけない
4. 自転車には乗らない

Q3 あなたは、自転車の二人乗りをしますか。

1. しない
2. ときどきする
3. よくする
4. 自転車には乗らない

Q4 あなたは、道路を歩いているときや自転車に乗っているとき、信号を無視して道路を横断するなど交通法規を無視することがありますか。

1. ない
2. ときどきある
3. よくある

Q5 あなたは次の応急手当の中で、自分ができる方法がありますか。それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|--------|---------|---------|
| ア. 人工呼吸 | 1. できる | 2. できない | 3. 知らない |
| イ. 心臓マッサージ | 1. できる | 2. できない | 3. 知らない |
| ウ. 止血法 | 1. できる | 2. できない | 3. 知らない |
| エ. 骨折の固定 | 1. できる | 2. できない | 3. 知らない |
| オ. 熱中症（日射病など）の対処 | 1. できる | 2. できない | 3. 知らない |

* 「2. できない」=習ったことはあるができないとき

* 「3. 知らない」=習ったこともなく知らないとき

質問 6 あなたが、ふだんの生活の中で、けがや安全のことで気になることがありましたら、下に書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

公益社団法人 日本学校歯科医学会
スポーツ外傷防止教育普及委員

マウスガードに関するアンケートその1 (市販 MG)

この調査は、皆さんがマウスガードについてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

年 氏名	性 別
	(1 男 2 女)

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。
※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

※ 次のQ1～Q3について、あなたの意見にもっとも近い回答を選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

1 あなたは（自作した市販の）マウスガードを、次のような時に付けていますか。
それぞれ当てはまるものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 必要だと思った時は、いつもつけている	2. 必要だと思った時は、ときどきつけている	3. 必要だと思った時も、ほとんどつけない	4. 全くつけていない
-----------------------	------------------------	-----------------------	-------------

Q1 打撃練習	(1 , 2 , 3 , 4)
Q2 守備練習 (ノックを含む)	(1 , 2 , 3 , 4)
Q3 試合やゲーム形式の練習	(1 , 2 , 3 , 4)
Q4 ランニング、筋力トレーニングなどの基礎練習	(1 , 2 , 3 , 4)

2 前の質問 (Q1～4) で1又は2と答えたものが一つでもある人にお聞きします。
Q5 マウスガードをつけようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

1. ケガに対する安心感	2. 自分の体をケガから守りたいから
3. 自分の歯や口は大切に守りたいから	4. 自分の脳は大切に守りたいから
5. 自分の顔や首は大切に守りたいから	6. 相手にケガをさせたくないから
7. その他 (具体的に)	

3 前の質問 (Q1～4) で2、3又は4と答えたものが一つでもある人にお聞きします。
Q6 マウスガードをつけなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 話しづらい	2. つばがたまる	3. 息ができない(呼吸が苦しい)
4. 吐気がする	5. 顎が疲れる	6. はずれる
7. 違和感が強い	8. 変なおいがる	9. 変な味がする
10. その他 (具体的に)		

マウスガードに関するアンケートその2 (カスタムタイプMG)

この調査は、皆さんがマウスガードについてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

年 氏名	性 別
	(1 男 2 女)

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。
※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

※ 次のQ1～Q3について、あなたの意見にもっとも近い回答を選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

1 あなたは（歯科医の先生に作ってもらった）マウスガードを、次のような時に付けていますか。
それぞれ当てはまる番号を1つずつ選んでください。

1. 必要だと思った時は、いつもつけている	2. 必要だと思った時は、ときどきつけている	3. 必要だと思った時も、ほとんどつけない	4. 全くつけていない
-----------------------	------------------------	-----------------------	-------------

Q1 打撃練習	(1 , 2 , 3 , 4)
Q2 守備練習 (ノックを含む)	(1 , 2 , 3 , 4)
Q3 試合やゲーム形式の練習	(1 , 2 , 3 , 4)
Q4 ランニング、筋力トレーニングなどの基礎練習	(1 , 2 , 3 , 4)

2 前の質問 (Q1～4) で1又は2と答えたものが一つでもある人にお聞きします。
Q5 マウスガードをつけようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

1. ケガに対する安心感	2. 自分の体をケガから守りたいから
3. 自分の歯や口は大切に守りたいから	4. 自分の脳は大切に守りたいから
5. 自分の顔や首は大切に守りたいから	6. 相手にケガをさせたくないから
7. その他 (具体的に)	

3 前の質問 (Q1～4) で2、3又は4と答えたものが一つでもある人にお聞きします。
※ Q1～4で、2と答えたものが一つでもある人は、ここでも答えてください。
Q6 マウスガードをつけなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 話しづらい	2. つばがたまる	3. 息ができない(呼吸が苦しい)
4. 吐気がする	5. 顎が疲れる	6. はずれる
7. 違和感が強い	8. 変なおいがる	9. 変な味がする
10. その他 (具体的に)		

以上。

歯の外傷事故および応急処置、マウスガードに関するアンケート
(第 104 回全国高等学校野球選手権大会)

学校名: _____

●歯・口、あごの外傷について、お聞きます。

Q1. 最近 1 年間に、試合や練習中の事故で、歯や口、あごをケガした選手はいいますか？

() はい (件数: _____ 回) () いいえ

Q2. どのような状況で、事故が発生したのか、教えてください。

() 打撃・練習 () 打撃・試合 () 守備・練習 () 守備・試合
() 走塁・練習 () 走塁・試合 () 投球・練習 () 投球・試合
() その他(_____)

差し支えなければ、事故の状況を具体的に記載してください。

(_____)

Q3. どのようなケガだったのか、教えてください。(複数回答可)

() 歯の一部が欠けた () 歯が折れた () 歯がグラグラ状態になった () 歯が脱臼して抜けた
() 唇や舌を切った () あごを打撲した () あごが外れた () あごの骨が折れた

●過去、歯の脱臼事故を経験した方にお聞きます。ない場合は、Q5 に進んでください。

Q4-a. 事故が起こったとき、どのように対応しましたか？(複数回答可)

() 歯科に行った () 医科に行った () その他(_____)

Q4-b. その場合、抜けた歯はどのように応急処置しましたか？(複数回答可)

経験がない方は、Q6 に進んでください。

() 水道水で洗った () 牛乳につけた () そのままで保管した () 歯の保存液に浸けた
() その他(_____)

Q5-a. もし練習中、試合中に選手の歯が脱臼したら、どのように対応しますか。

() 歯科に行く () 医科に行く () その他(_____)

Q5-b. その場合、抜けた歯について、どのように対応すると思いますか？(複数回答可)

() 水道水で洗う () 牛乳につける () そのままで保管する () 歯の保存液に浸ける
() その他(_____)

●今回、配布させていただいた歯の保存液について、質問いたします。

Q6. このような保存液があるのは知っておられましたか？

() はい () いいえ () いりえ

Q7. もしこの保存液につけて歯科に持っていくと、抜けた歯を元の場所に戻すのに有効ならば、購入してみようと考えますか？

() はい () いいえ (理由: _____)

* 「いいえ」と回答された理由を記載してください

●マウスガードについて、お聞きます。

Q8. チームで、マウスガードを使用している部員はいいますか？

() いる、全員 () いる、一部の生徒 () 以前いたが、今はいない () いない

Q9. 入手経路は、次のどれですか？

() スポーツ店やネット通販で、既製品を購入 () 歯科医が歯型と噛み合わせを取って、カスタムメイド
() マウスガード業者の売り込み、またはオーダー () 入手経路は不明

Q10. 入手方法は、次のどれですか？

() 生徒個人で随意に購入。 () チームで購入を斡旋した。

Q11. マウスガードに、効果を感じていますか？

() はい () いいえ () わからない

Q12. どういった点に、効果を感じていますか？

() 歯・口のけが防止 () 脳震盪の予防 () 筋力トレーニング効果 () バッティングへの効果
() ピッチングへの効果 () その他(_____)

Q13. 学校歯科医は、口腔外傷の予防、口腔外傷発生時の対処の仕方について、周知に取り組んでいますか、このような学校歯科医の活動をご存知ですか。

() () 指導を受けたことがある () 指導を受けたことはない

*指導を受けた内容はどのようなことでしたか

(指導内容: _____)

Q14. 部活動の口腔外傷予防には学校歯科医との連携が重要ですが、あなたの学校ではできていますか？

() できている () あまりできていない

通信空間

もし歯の外傷やその対応についてご質問やもっと知りたいなどのご要望があれば、ご連絡先とあわせて記入してください。

ご協力ありがとうございます。

公益社団法人日本学校歯科医学会
学校安全教育調査研究委員会
大阪歯科大学フーズ歯科臨床研究班
公益財団法人日本高等学校野球連盟

年 月

野球部の保護者の皆様へ

公益社団法人日本学校歯科医学会
学校安全教育調査研究委員会

アンケート調査へのご協力をお願い

本会は、将来の日本を担う児童生徒等の健康や安全のために、従来から歯・口の健康づくりに取り組み、これまでむし歯予防を中心に成果を上げてきましたが、近年、歯周病の増加や、スポーツでの歯・口の外傷などの課題が指摘されています。

そのようなことから、本会では平成29年度より日本高等学校野球連盟等と連携し、学校のスポーツ活動における歯・口の外傷防止を中心とした安全教育の普及推進のため、貴校の野球部を研究校に指定し、生徒の安全に関する調査、外傷防止のための教育と安全な環境づくり及びマウスガードの装着体験を通した歯・口の外傷防止に取り組んでおります。今年度は、第3期（2年間）の初年度に当たります。

つきましては、幅広く取組の課題や成果等を分析するため、保護者の皆様にもアンケートを実施することとなりました。何かとご多用中と思われませんが、ご協力をお願いいたします。なお、本アンケートは、無記名とし、統計処理して本事業の報告書作成にのみ使用します。

記

以下の質問で、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 あなたは、貴校野球部が研究指定校として外傷防止に取り組んでいることを知っていましたか。
1. 知っていた 2. 知らなかった
- Q2 あなたは、野球部で外傷防止に取り組むことは、必要だと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q3 あなたは、野球部で外傷防止に取り組むことは、大切だと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q4 あなたは、野球での外傷防止について、子どもと話しあったりすることがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. たまにある 4. 全く無い
- Q5 これまでの野球部の取組は、子どもの安全確保に役立ったと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない 5. 分からない
- Q6 これまでの野球部での安全への取組は、こどもの将来の生活で安全確保に役立つと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない 5. 分からない
- Q7 あなたは、マウスガードが野球での安全確保に役立つと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない 5. 分からない
- Q8 子どもが今後も野球を続けるとしたら、有償でもマウスガードを使用させたいと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない 5. 分からない
- Q9 昨年から取り組んだ野球部でのスポーツの安全への取組やマウスガードの使用などについて、ご意見などがあつたら、自由に書いて下さい。

[

Q10 回答していただいた方とお子さんの関係を選んでください。

1.母親 2.父親 3.その他

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。